

SHARP®

液晶プロジェクター エックス プイ ゼット 形名 XV-Z7000

取扱説明書



このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

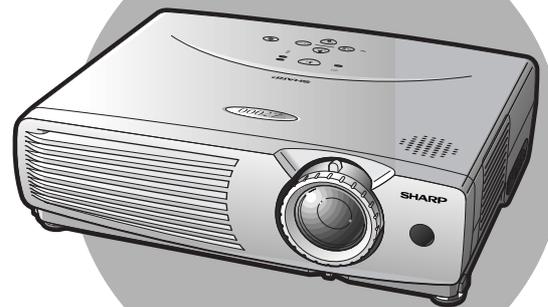
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……4ページ

保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

なお、この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。



はじめに


設置と接続のしかた


基本操作


便利な機能を使う


正しくお使いいただくために


付録


特長

高精細 SVGA パネルの採用で、ハイビジョンにも対応した
ビデオ映像に最適なシアター機

1 高画質設計

高コントラスト比 350 : 1 を実現

- 黒をより黒く、白はより白く、クッキリとした鮮明な映像が楽しめます。

デジタルユニフォーミティー回路の採用

- 画面の色ムラを補正し、より見やすい映像が楽しめます。

2 - 3 プルダウン機能の採用 (フィルムモード)

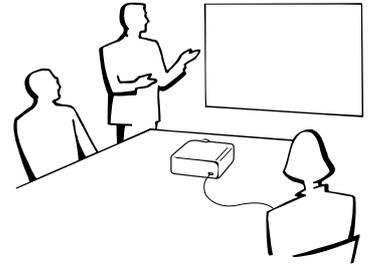
- 24コマ / 秒の映画フィルムをそのまま記録している DVD ソフトを、60コマ / 秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

ガンマ補正機能の採用

- 映像や部屋の明るさに合わせ、階調表現を変えるなど、3種類のガンマ設定でお好みの映像が楽しめます。

3次元 Y/C 分離回路でより美しいビデオ映像を実現

- 3次元 Y/C 分離回路により、ビデオ映像でのドット妨害やクロスカラーノイズを最小限におさえ、高品位なビデオ映像が楽しめます。



2 多彩なメディアに対応

- 世界の主な方式 NTSC、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM 方式への対応と、BS デジタルチューナーや DVD プレーヤーなどコンポーネント (色差) 出力のある機器が接続できるコンポーネント (色差) 入力端子を装備しています。

- BS デジタル放送にも対応。

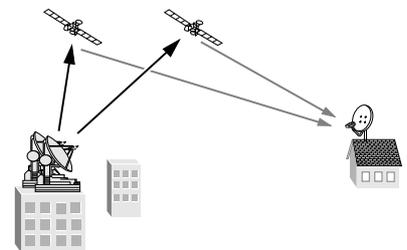
1125i、750p、525p、525i の放送に対応しています。

- 約 48 万ドットの高精細液晶パネル (800 × 600) を 3 枚使用。コンピュータ入力も可能です。

VGA (640 × 480)・・・拡大表示

SVGA (800 × 600)・・・リアル表示

XGA (1024 × 768)、SXGA (1280 × 1024)・・・高品位圧縮表示



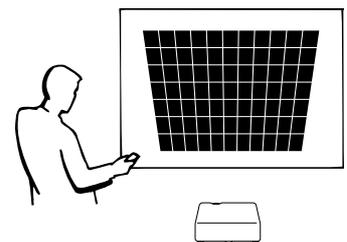
3 設置の容易なコンパクト設計

小型・軽量設計で設置や持ち運びが簡単

- 質量約 2.6kg、容積約 4 リットルのコンパクト設計。

画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正回路を搭載

- デジタルキーストーン補正回路により、仰角投射したときなどにできる画面の台形歪みを、電氣的に補正します。





もくじ

はじめに

	ページ
特長	2
もくじ	3
安全に正しくお使いいただくために	4
使用上のご注意	8
海外でご使用になるときは	8
各部のなまえ	9
本体	9
リモコン	11
リモコンの使いかた	12

設置と接続のしかた

付属品を確認する	14
設置のしかた	15
アジャスターの使いかた	15
スクリーンを設置する	16
接続のしかた	19
接続例	19
プロジェクターにビデオ機器を接続する	20
・BS デジタルチューナーやDVD プレーヤーなどを別売のD-sub/RCA ケーブルを使って入力 2 端子に接続する	
・BS デジタルチューナーやDVD プレーヤーなどコンポーネント(色差)出力端子付ビデオ機器を入力 1 端子に接続する	
・ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他 AV 機器を接続する	
コンピュータと接続する	21
シリアル(RS-232C)端子へ接続する	22

基本操作

投影のしかた	24
電源を入れてから切るまで	24
レンズ調整	26
画面の台形歪みを補正する	27
メニューの使いかた	28
メニュー表示内容一覧	28
メニュー項目別の設定調整内容一覧	29
メニューの基本操作	30
映像を調整する	32
ビデオ、DVD プレーヤーなどの映像を調整する	32
色温度について	33
コンピュータの映像を調整する	34
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する	36
同期調整について	38
手動同期調整	38
自動同期調整について	39
特殊モード調整	40
入力信号を確認する	41
映像の左右反転 / 上下反転のしかた	42

便利な機能を使う

	ページ
静止画機能	44
ガンマ補正	45
画像表示モードを選ぶ	46
無信号時電源オフモードを選ぶ	47
無信号時に表示する画面を設定する	48
プログレッシブモードを選ぶ	49
画面表示言語を選ぶ	50
シアター(明るさ)モード切換えのしかた	51
ランプ(光源)の使用時間を確認する	52

正しくお使いいただくために

お知らせ表示 / ランプ(光源)について	54
お知らせ表示について	54
ランプ(光源)について	55
お手入れのしかた	56
エアフィルター交換のしかた	56
エアフィルターのお手入れのしかた	58

付録

本体のコネクタのピン配列	60
RS-232C ポート仕様	61
RGB 入力信号(推奨信号)について	63
故障かな?と思ったら	64
アフターサービスについて	65
お問い合わせは	66
仕様	68
寸法図	69
用語集	70
索引	71



安全に正しくお使いいただくために

はじめに

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味
(絵表示の一例です)



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

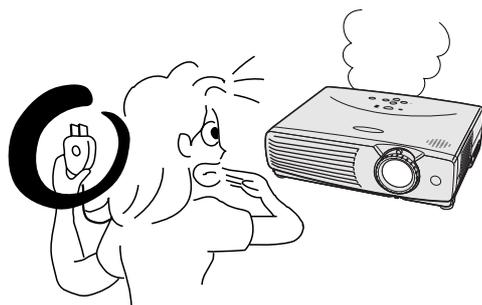
煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



キャビネットは絶対にあけない



● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

指定以外の電圧では使用しない



● 表示された電源電圧(交流100~240ボルト)以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

液晶プロジェクターを落としたときは

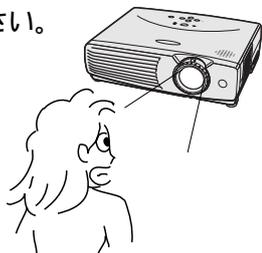


- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



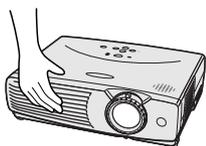
- 投影中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投影中は、光源ランプ交換ドアや排気孔、およびその周辺部に触れないでください。高温になりますので、やけどの原因となります。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部にものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために(つづき)

はじめに



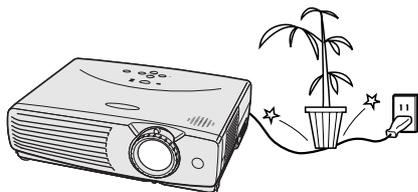
安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

湿気やほこりの少ない場所に置く

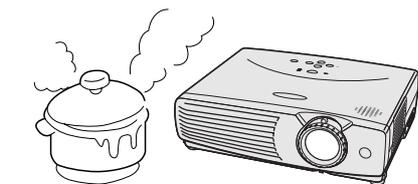


- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



重いものを置かない



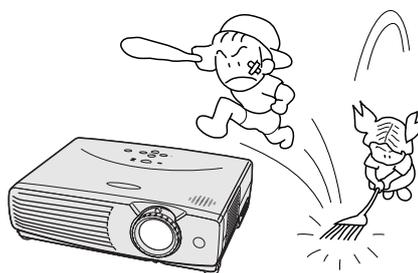
- この機器の上に重いものを置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから10cm以上はなして設置してください。

次のような使い方はしないでください。

この機器を横倒しや、レンズを上または下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

移動させるときは必ず接続線をはずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

指定以外の電池は使わない

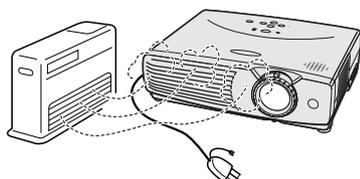


- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んででもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。



使用上のご注意

設置するときにはつぎの点にご注意ください。

ホコリ、湿気の少ないところへ

湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

高温、低温の場所はさけてください

使用温度範囲 5 ~ 35
保存温度範囲 - 20 ~ 60

直射日光や、照明の光はさけてください

スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

排気孔や吸気孔をふさがないように

排気孔側に壁やモノがある場合は、10cm以上スキ間をあけて設置してください。
吸気孔をふさがないように設置してください。

本機を7度以上傾けないように設置してください

設置範囲(水平に対する角度) + 7°

温度

温度モニター機能

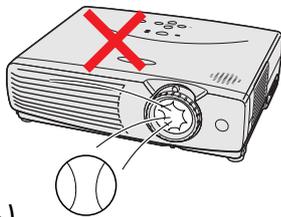
設置状況やエアフィルターが目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高くなると、「温度」マークが画面に表示されます。さらに温度が上昇し続けると、ランプ(光源)が消灯し、プロジェクターの温度表示(ランプ)が点滅し、90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については54ページの「お知らせ表示について」をご参照ください。

! 注意

冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。投影中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

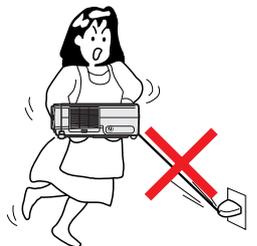
衝撃を与えないでください

本機の投射レンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



持ち運びのご注意

持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。なお、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。



目をときどき休めてください

連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

接続機器について

プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

Micorsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

PS/2、PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

その他製品名等の固有名称は各社の商標または登録商標です。

海外でご使用になるときは

お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

主な地域	電源コード部品番号
北米	QACCU5013CEZZ
ヨーロッパ	QACCV4002CEZZ
イギリス、香港、シンガポール	QACCB5024CEZZ
オセアニア	QACCL3022CEZZ
中国	QACCC3030CEZZ

詳しくは、もよりのお客様相談窓口の「一般ご相談窓口(67ページ)にお問い合わせください。

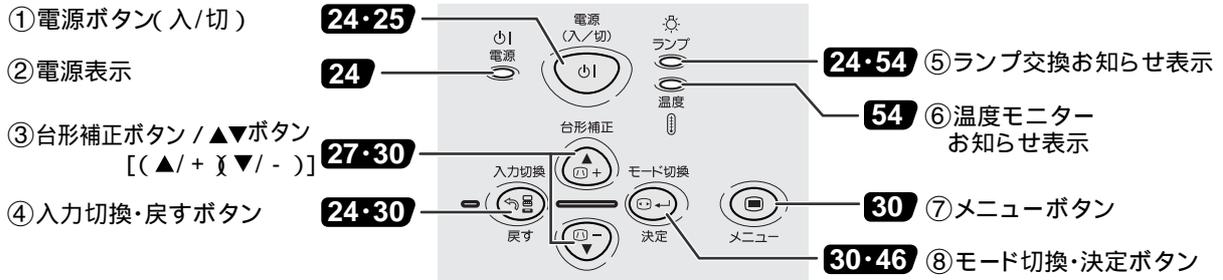


各部のなまえ

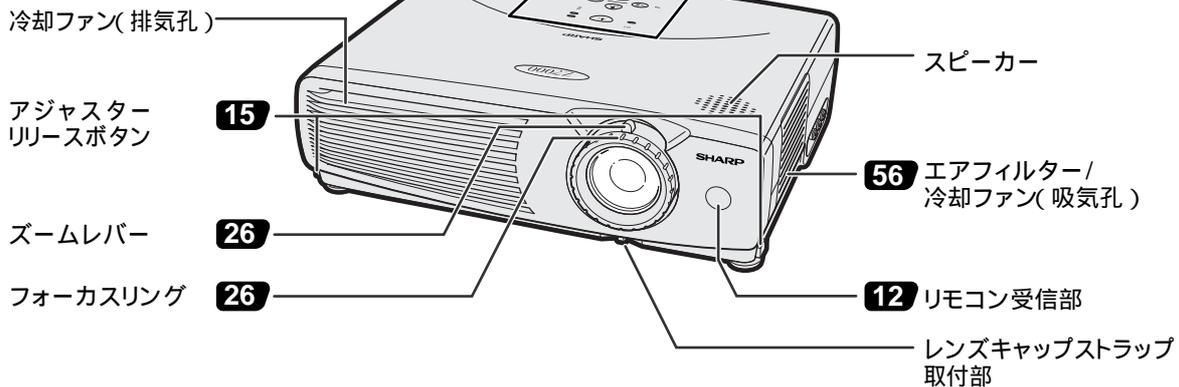
■ は参照ページを示しています。

本体

天面操作部

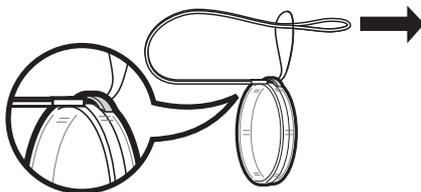


前面・天面

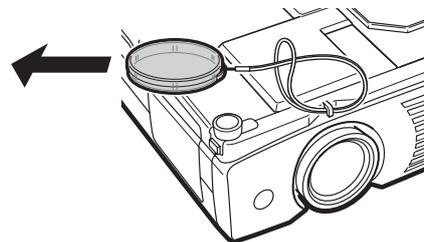


レンズキャップストラップの取り付けかた

1 レンズキャップにレンズキャップストラップ(付属品)を取り付ける。



2 本体に取り付ける。



各部のなまえ	はたらき
①電源(入/切)ボタン	電源を入、切する
②電源表示	待機状態では赤、電源を入れると緑に変わる
③台形補正(▲/+)(▼/-)ボタン	画面の台形歪みを補正したり、メニューの選択や各調整画面で調整を行うときに使用する
④入力切換・戻すボタン	接続された外部機器の入力信号を切り換えたり、1つ前の操作の状態に戻したりする
⑤ランプ交換お知らせ表示	通常は緑色で点灯。赤色で点灯すればランプ交換が必要
⑥温度モニターお知らせ表示	通常は緑色で点灯。内部温度が高温になると赤色で点灯する
⑦メニューボタン	メニューを表示させる
⑧モード切換・決定ボタン	画面表示モード[ズーム・スクイーズ(フル)・ノーマル]を切り換えたり、各操作の区切りや選択項目の決定などを行うとき使用する



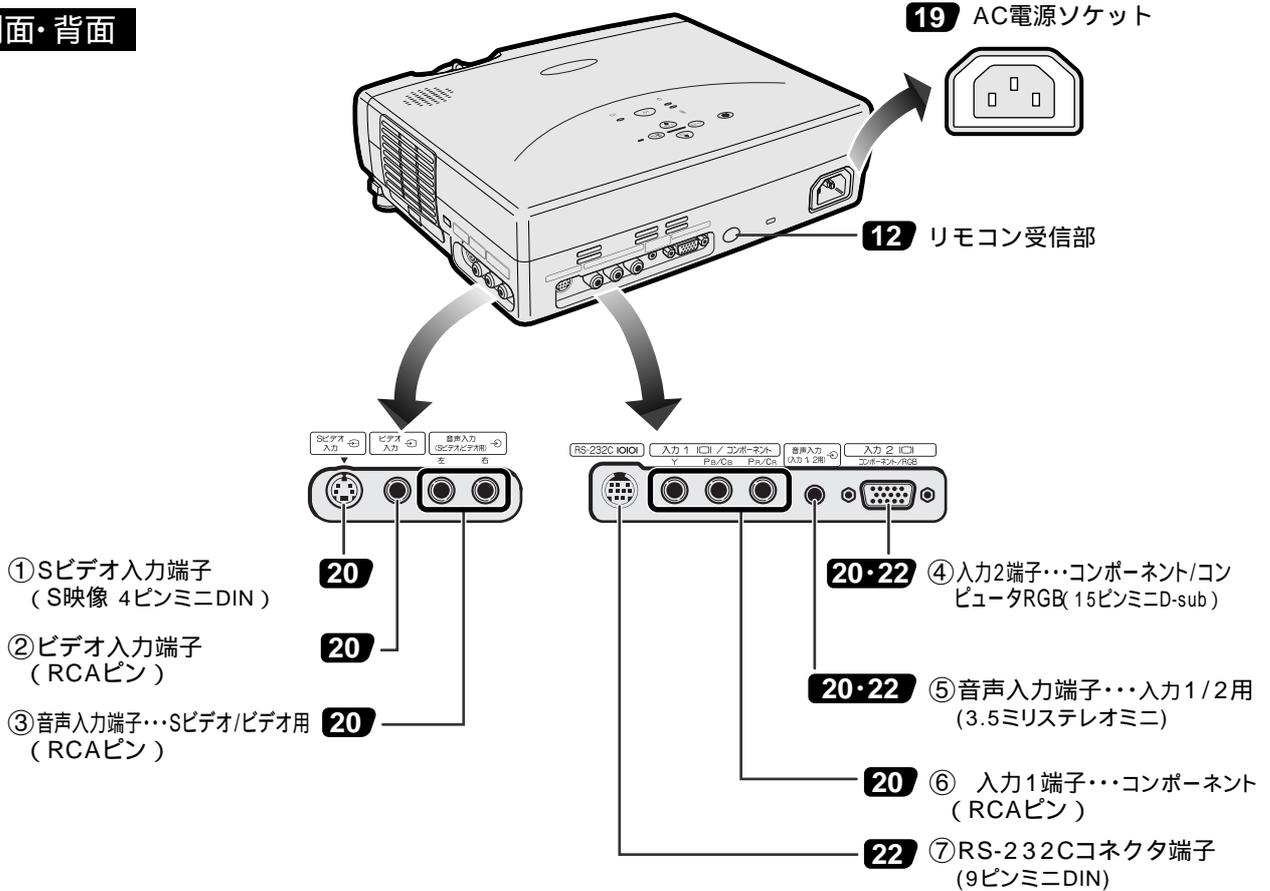
各部のなまえ(つづき)

はじめに

各部のなまえ(つづき)

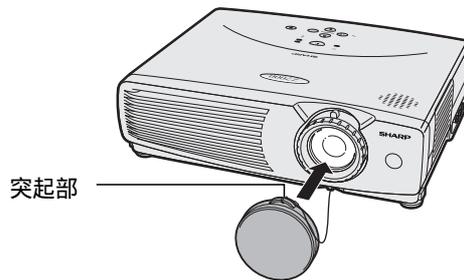
■ は参照ページを示しています。

側面・背面



レンズキャップ装着のしかた

- 1 図のように突起部を上にして装着します。

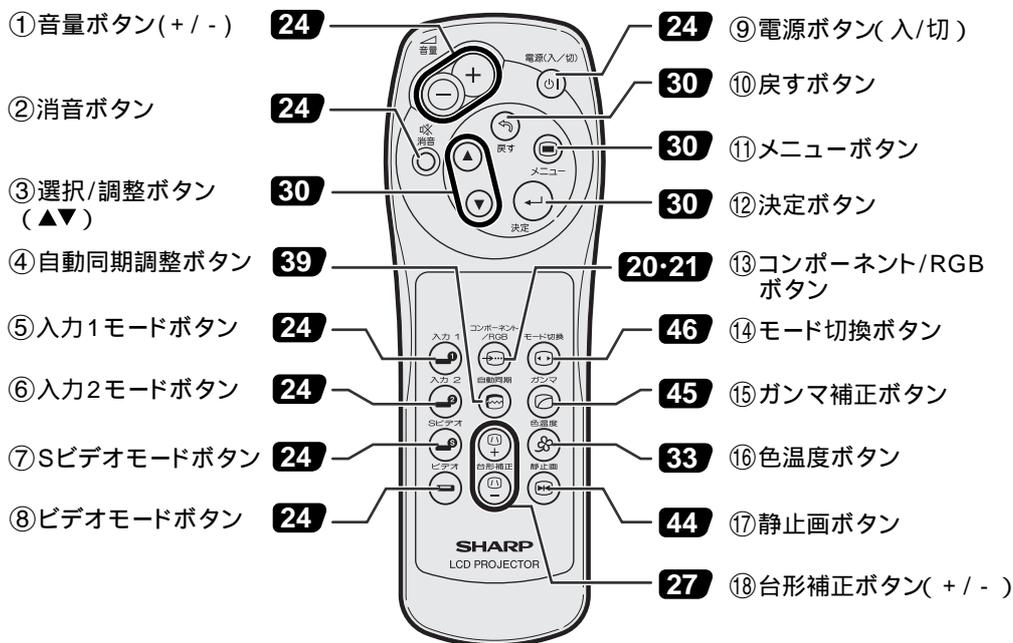


各部のなまえ	はたらき
① S-ビデオ入力端子 (S映像 4ピンミニDIN)	S端子付ビデオ機器を接続するときに使用する
② ビデオ入力端子 (RCAピン)	RCAピンジャックタイプのビデオ入力用端子
③ 音声入力端子…Sビデオ/ビデオ用 (RCAピン)	RCAピンジャックタイプの音声入力 (Sビデオ、ビデオ) 用端子
④ 入力2端子…コンポーネント/コンピュータRGB(15ピンミニD-sub)	コンポーネント/コンピュータRGB(15ピンミニD-sub) 接続用端子 D-sub/RCAケーブル(別売品)で接続する
⑤ 音声入力端子…入力1/2用 (ステレオミニジャック)	入力1、2に接続の機器の音声入力用端子
⑥ 入力1端子 (RCAピン)	RCA端子 (3連) を使って機器を接続する場合に使用する
⑦ RS-232Cコネクタ (9ピンミニDIN)	RS-232Cケーブル(市販品)を使ってコンピュータなどと接続する

は参照ページを示しています。

リモコン

上面



前面



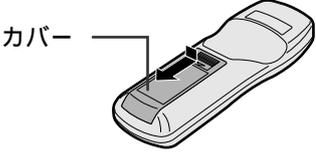
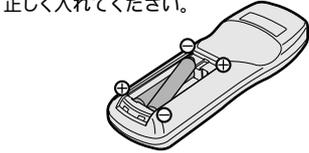
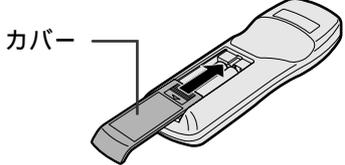
各部のなまえ	はたらき
①音量ボタン(+/-)	スピーカーからの音量を調整する
②消音ボタン	スピーカーからの音を一時的に消す
③選択/調整ボタン(▲▼)	メニューの選択や各調整画面で調整を行うときに使用する
④自動同期調整ボタン	入力信号を最適な状態に自動調整する
⑤入力1モードボタン	本体背面の「入力1」「音声(入力1、2用)」に接続された外部機器を選択する
⑥入力2モードボタン	本体背面の「入力2」「音声(入力1、2用)」に接続された外部機器を選択する
⑦Sビデオモードボタン	本体側面の「Sビデオ入力」「音声入力(Sビデオ、ビデオ)」に接続されたビデオ、AV機器を選択する
⑧ビデオモードボタン	本体背面の「ビデオ入力」「音声入力(Sビデオ、ビデオ)」に接続されたビデオ、AV機器を選択する
⑨電源ボタン(入/切)	電源を入、切する
⑩戻るボタン	1つ前の操作の状態に戻る
⑪メニューボタン	メニューを表示させる
⑫決定ボタン	各操作の区切りや選択項目の決定などを行うとき使用する
⑬コンポーネント/RGBボタン	入力2モードを使用するときに接続する機器により切り換える
⑭モード切換ボタン	画面表示モード[ズーム・スクイーズ(フル)・ノーマル]を切り換える
⑮ガンマ補正ボタン	部屋の明るさの違いなどに合わせて、最適な見やすい映像に補正する
⑯色温度ボタン	画像の色合いを調整する
⑰静止画ボタン	動画を静止画として表示させる
⑱台形補正ボタン(+/-)	画面の台形歪みを補正する
⑲リモコン信号発信部	本体前面及び後面のリモコン受信部に向けて信号を発信する



リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

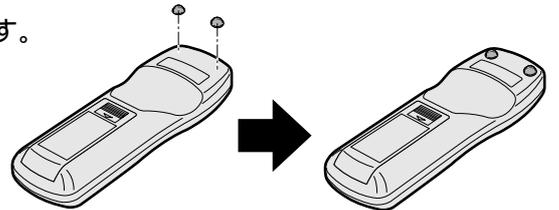
乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。〔単4形(R03)2本〕

<p>1 カバーを矢印の方向にスライドさせ開けます</p>	<p>2 付属の乾電池を入れます</p>	<p>3 カバーを矢印の方向にスライドさせ閉めます</p>
<p>カバー</p> 	<p>プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。</p> 	<p>カバー</p> 

ゴム脚の取り付け

リモコン用ゴム脚はこの取扱説明書といっしょに入っています。図のようにリモコン用ゴム脚を貼り付けます。

- 机の上など平らなところに置いて使うときなどガタ付きが防止できません。
- 付属のゴム脚を取り付けないときは、小さなお子さまが誤って口に入れないよう、お子さまの手の届かないところに保管してください。特



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。



注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。



メモ

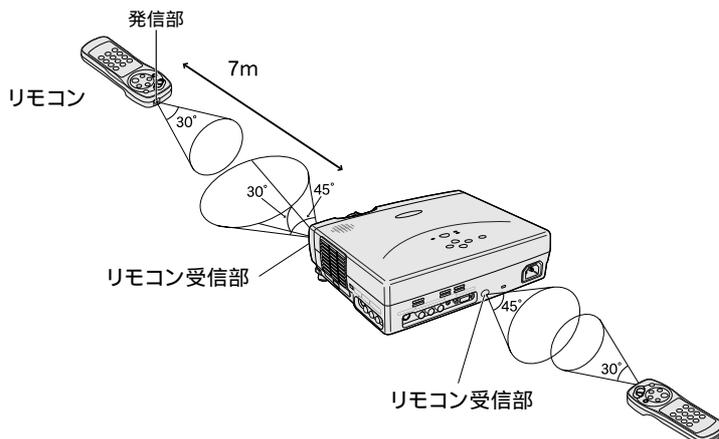
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は下図のとおりです。



リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。



注意

リモコンの使用上のご注意
衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かない。

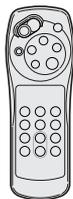


設置と接続のしかた





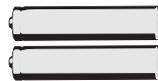
付属品を確認する



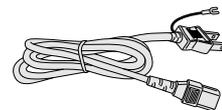
リモコン



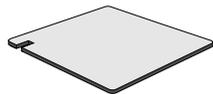
リモコン用ゴム脚
(取り付け 12 ページ)



単 4 形乾電池(2 本)



電源コード



エアーフィルター
(交換用)



レンズキャップ



レンズキャップストラップ
(取り付け 9 ページ)

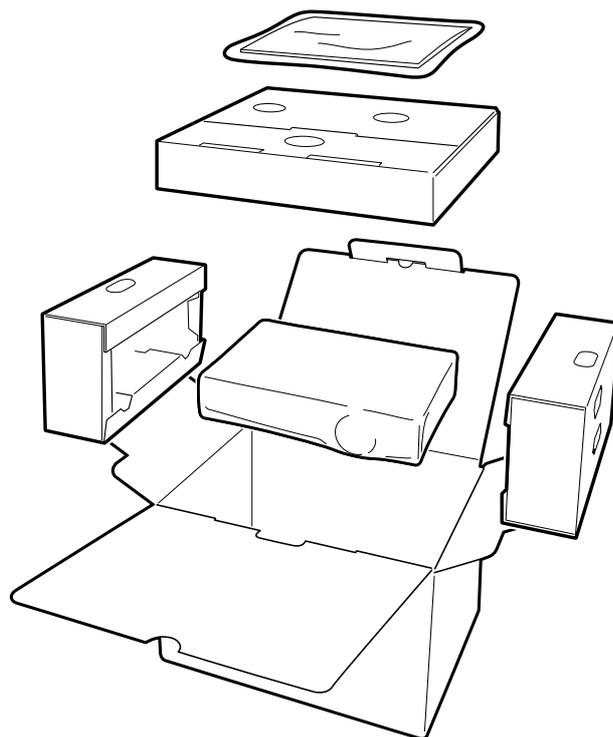
アンケートハガキ

取扱説明書(本書)

保証書

! 注意

リモコン用ゴム脚を使用しないときは、小さなお子さまが誤って口に入れられないよう、お子さまの手の届かないところに保管してください。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。





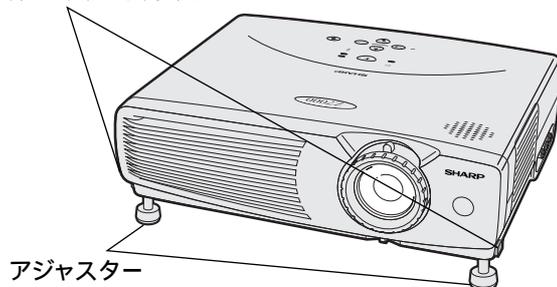
設置のしかた

アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

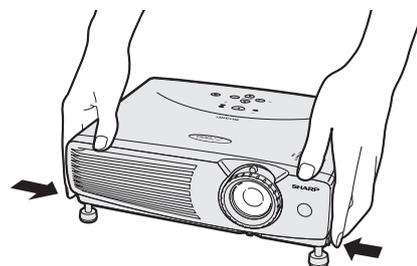
スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投影画面を高くすることができます。

アジャスターリリースボタン



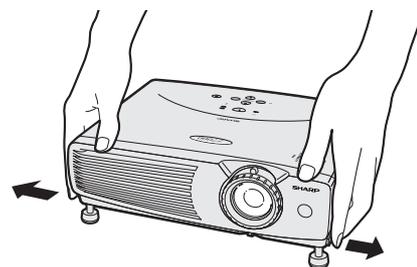
アジャスター

- 1** アジャスターリリースボタンを押す



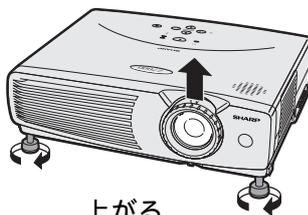
- 2** プロジェクターを持ち上げて高さを調節し、アジャスターリリースボタンから手を離す

伸びたアジャスターが設置面に届いていることを確認してください。

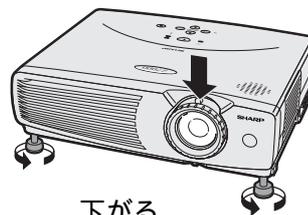


- 3** アジャスターをまわして、微調整する

アジャスターをまわすと少しずつ上下します。ぐらつきがないようにしてください。



上がる



下がる



元に戻すときは、プロジェクターをしっかり持ってアジャスターリリースボタンを押さえて下へおろします。

プロジェクターは標準位置から約7度まで角度調節できます。

プロジェクターの高さを調整した場合、プロジェクターとスクリーンの位置関係によっては、映像が歪む場合があります。

！ 注意

アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押したときは、プロジェクターをしっかりささえて高さを調整してください。

プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。

プロジェクターを下げる時、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。



設置のしかた(つづき)

スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。



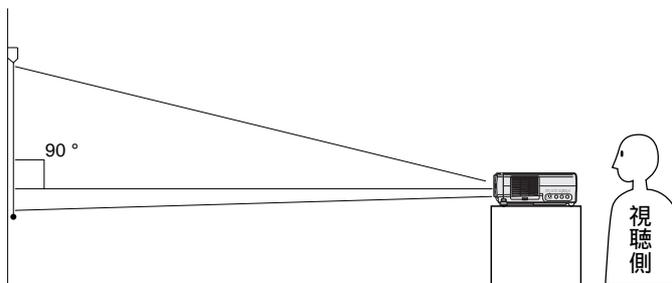
基本的な設置(前面からの投影)

投影したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(次ページ表参照)



基本設置例

横から見たとき



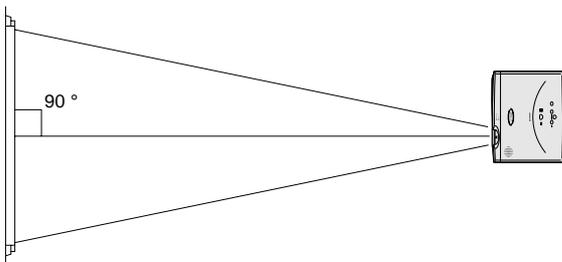
スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

▶ 17ページ

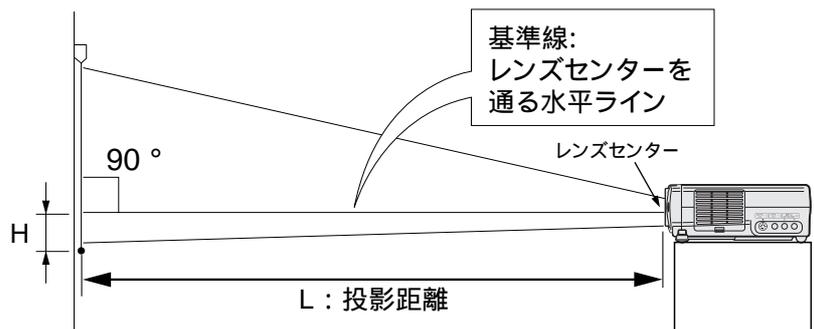
スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままでも投影できます。投影した画面の上下左右が反転している場合は、「投影方式」のサブメニューで、標準に設定しなおしてください。

▶ 42ページ

上から見たとき



レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。



4:3 ズームモード

フォーカス可能保証範囲: 1.15 ~ 10 m

画面サイズ			投影距離 (L)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)
250	約5.1	約3.8	10.0	9.9
200	約4.1	約3.0	9.6	7.9
150	約3.0	約2.3	7.2	5.9
120	約2.4	約1.8	5.7	4.7
110	約2.2	約1.7	5.2	4.3
100	約2.0	約1.5	4.8	3.9
80	約1.6	約1.2	3.8	3.2
60	約1.2	約0.9	2.8	2.4
40	約0.8	約0.6	1.9	1.6
30	約0.6	約0.5	1.4	1.2

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0481x - 0.0447$$

$$L2 = 0.04x - 0.0447$$

$$H = 0.1524x \text{ (cm)}$$

x : 画面サイズ(対角)(型)

L1: 最大投影距離 (m)

L2: 最小投影距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

16:9 スクイーズ(フル)モード

フォーカス可能保証範囲: 1.15 ~ 10 m

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)	
230	約5.1	約2.9	10.0	10.0	- 9.6 cm
200	約4.4	約2.5	10.0	8.6	- 8.3 cm
150	約3.3	約1.9	7.8	6.5	- 6.2 cm
120	約2.7	約1.5	6.2	5.2	- 5.0 cm
110	約2.4	約1.4	5.7	4.8	- 4.6 cm
100	約2.2	約1.2	5.2	4.3	- 4.2 cm
80	約1.8	約1.0	4.1	3.4	- 3.3 cm
60	約1.3	約0.7	3.1	2.6	- 2.5 cm
40	約0.9	約0.4	2.0	1.7	- 1.7 cm
30	約0.6	約0.4	1.5	1.3	- 1.3 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0524x - 0.0447$$

$$L2 = 0.0436x - 0.0447$$

$$H = - 0.0417x \text{ (cm)}$$

x : 画面サイズ(対角)(型)

L1: 最大投影距離 (m)

L2: 最小投影距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

4:3 ノーマルモード

フォーカス可能保証範囲: 1.15 ~ 10 m

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長 (m)	L2: 最短 (m)	
180	約3.7	約2.7	10.0	9.5	- 9.1 cm
150	約3.0	約2.3	9.6	7.9	- 7.6 cm
120	約2.4	約1.8	7.6	6.4	- 6.1 cm
110	約2.2	約1.7	7.0	5.8	- 5.6 cm
100	約2.0	約1.5	6.4	5.3	- 5.1 cm
90	約1.8	約1.4	5.7	4.8	- 4.6 cm
80	約1.6	約1.2	5.1	4.2	- 4.1 cm
60	約1.2	約0.9	3.8	3.2	- 3.0 cm
40	約0.8	約0.6	2.5	2.1	- 2.0 cm
30	約0.6	約0.5	1.9	1.6	- 1.5 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0641x - 0.0447$$

$$L2 = 0.0533x - 0.0447$$

$$H = - 0.0508x \text{ (cm)}$$

x : 画面サイズ(対角)(型)

L1: 最大投影距離 (m)

L2: 最小投影距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H) (cm)

! 注意

近似式には±3%の誤差があります。

表中に-(マイナス信号)がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示します。



設置のしかた(つづき)

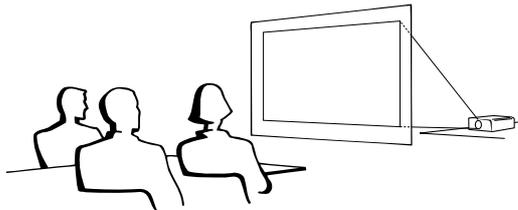
反転映像を投影するとき

スクリーン背後からの投影

透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

メニューの投影方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(42ページ参照)

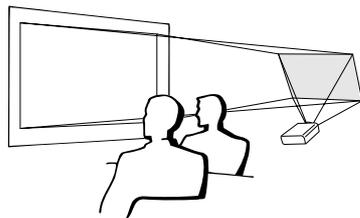
天井に取り付けた状態で、透過型スクリーンを使用したときは、「天吊り+リア」に設定してください。



ミラーを使った投影

レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。

視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投影方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(42ページ参照)



! 注意

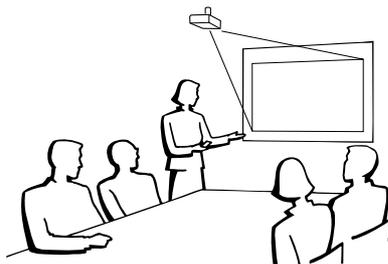
ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投影

天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプタが必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

プロジェクターを天井に設置するときは、17ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。

メニューの投影方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。



画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



映像の左右を反転します

画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



映像の左右を反転します

画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



映像の上下を反転します

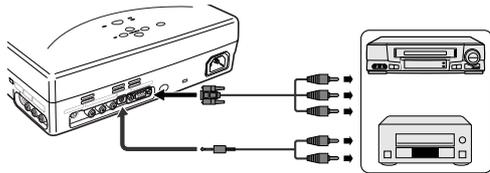


接続のしかた

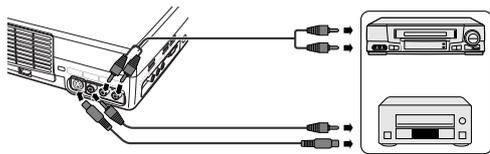
接続例

ビデオ、オーディオ機器との接続

別売の D-sub/RCA ケーブル「AN-C3CP」を使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。くわしくは 20 ページをご覧ください。

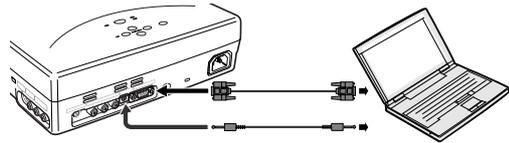


市販の AV ケーブル等を使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。くわしくは 20 ページをご覧ください。

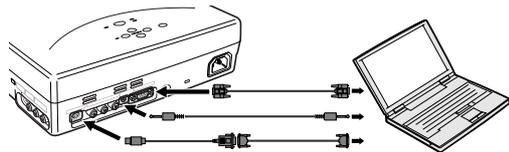


コンピュータとの接続

市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続します。くわしくは 21 ページをご覧ください。

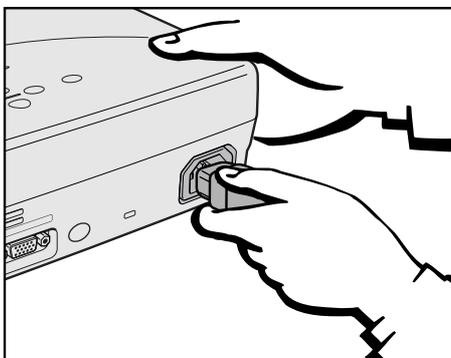


RS-232C ケーブルを使って接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作(制御)できます。くわしくは 22 ページをご覧ください。



電源コードを接続する

プロジェクターの背面にある AC 電源ソケットに電源コードを接続します。

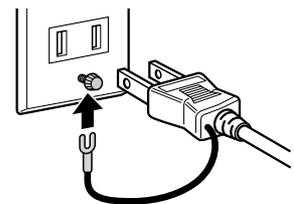


付属品



電源コード

電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。また、アースコードを取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。





接続のしかた(つづき)

プロジェクターにビデオ機器を接続する

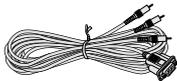
本機は、BS デジタルチューナー・DVD プレーヤー・ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他の AV 機器と接続することができます。

注意

ビデオ機器を接続をするときは、プロジェクターとビデオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

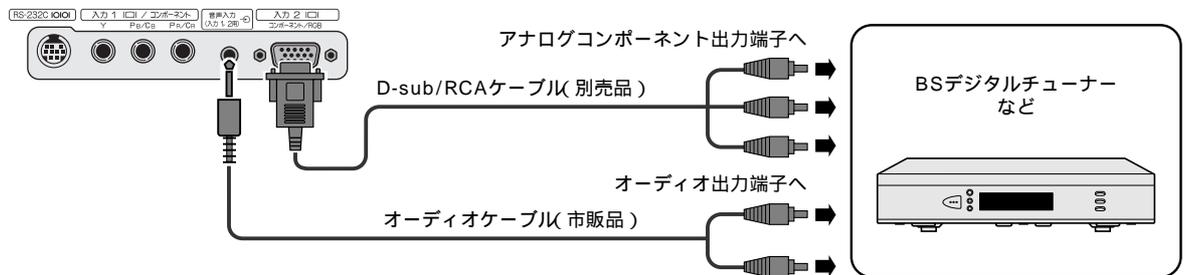
BSデジタルチューナーやDVDプレーヤーなどを別売のD-sub/RCAケーブルを使って入力2端子に接続する

別売品

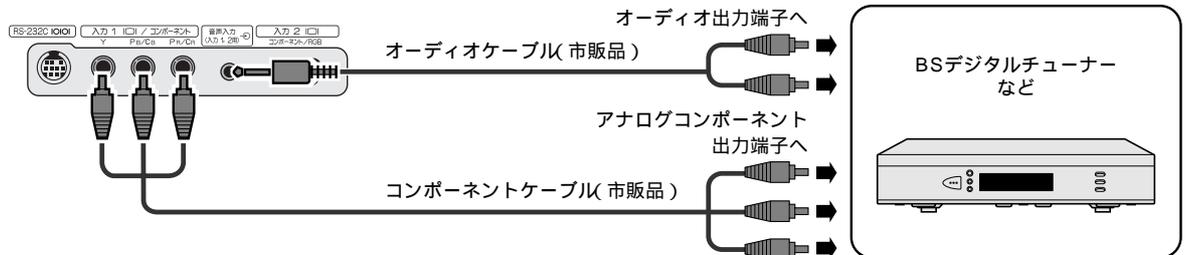


D-sub/RCA ケーブル
形名：AN-C3CP

本機の入力2端子にDVDプレーヤーやデジタルビデオなどを接続するときは、リモコンの「コンポーネント/RGB」ボタンを押して入力信号タイプを「Component」入力に設定してください。画面に **入力2** 色差入力 が表示されます。



BSデジタルチューナーやDVDプレーヤーなどコンポーネント(色差)出力端子付ビデオ機器を入力1端子に接続する

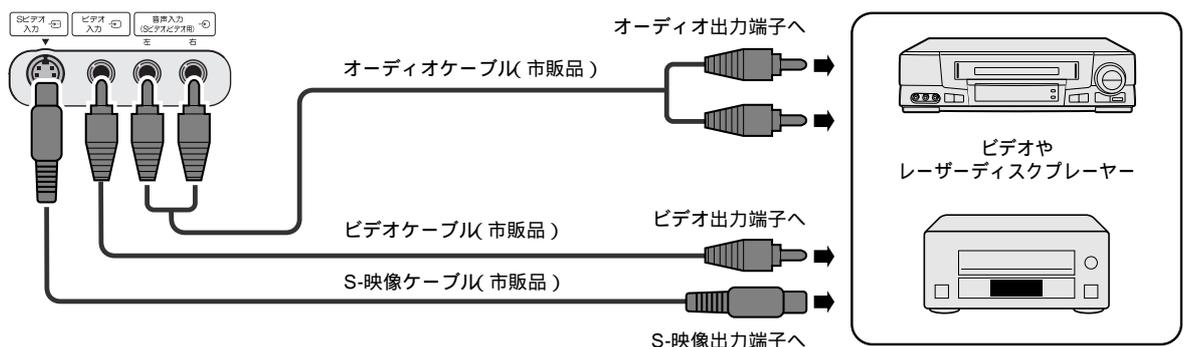


ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他のAV機器を接続する

メモ

お持ちのビデオ機器にS映像出力端子がない場合、普通のビデオ出力端子をお使いください。

Sビデオ入力端子とビデオ入力端子は独立しています。(音声入力は共用)



コンピュータと接続する

接続を始める前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を先に入れ、一番最後にコンピュータの電源を入れます。接続の際は、コンピュータの取扱説明書をよくお読みください。

！ 注意

対応しているコンピュータの表示モードについてくわしくは、63ページの一覧表をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用する、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

IBM-PC または Macintosh と接続する

- ① 市販のコンピュータ(RGB)ケーブルの一方をプロジェクターの入力2端子に接続します。
- ② もう一方をコンピュータのRGB出力端子に接続します。(ねじを締めて確実に接続してください。)
- ③ 音声を入力する場合は、市販品のコンピュータ音声ケーブルをプロジェクターの音声入力(入力1、2用)端子に接続します。もう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。

RGB接続にしたときは入力信号タイプをRGBに設定してください。

メモ

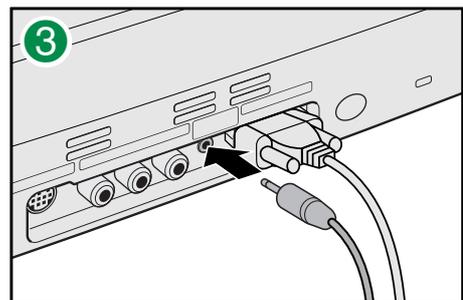
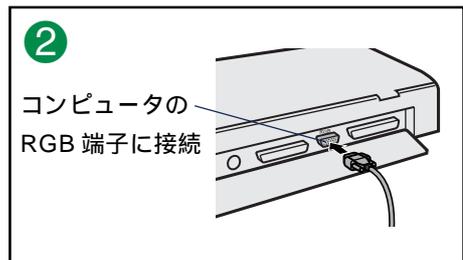
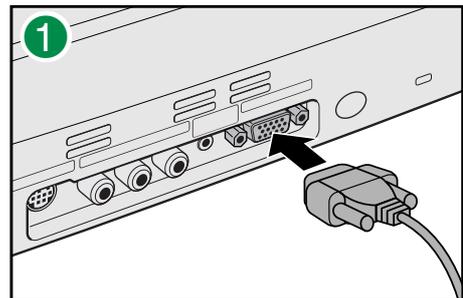
Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

この方法で接続するときは、リモコンの「コンポーネント/RGB」ボタンを押して、入力信号タイプを「RGB」入力に設定してください。

画面に **入力2** RGB入力 が表示されます。



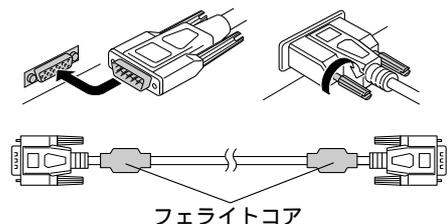
本体で設定するときは、メニュー画面で設定します。(34ページ)



コンピュータ(RGB)ケーブルの取り扱いについて

本機とコンピュータに接続するコンピュータ(RGB)ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品取締法基準に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。





接続のしかた(つづき)

シリアル(RS-232C)端子へ接続する

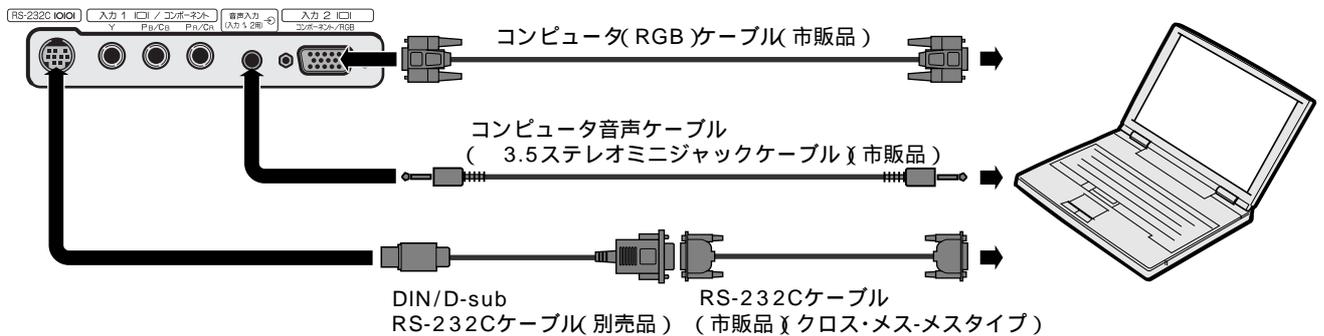
市販のRS-232Cケーブル(クロスタイプ・市販品)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。くわしくは61ページをご覧ください。



当社別売品 DIN/D-sub RS-232Cケーブルの部品コード、流通コードは次のとおりです。

部品コード：QCNW-5288CEZZ

流通コード：0065120862



注意

RS-232Cケーブルを接続するときは

コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータにRS-232Cケーブルを接続したり、外したりしないでください。

DIN/D-sub RS-232Cケーブル以外は接続しないでください。

パソコン側のRS-232C端子以外には接続しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。

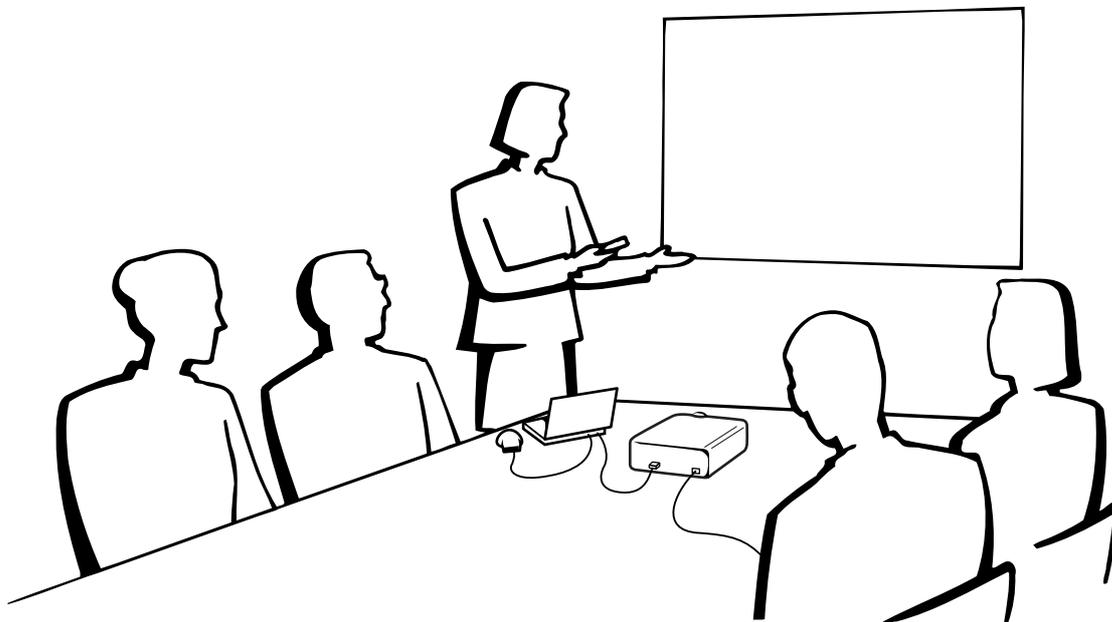


コンピュータポートが正しく設定されていないと、コンピュータからプロジェクターを操作するなどの機能が正しく動作しないことがあります。

Macintoshコンピュータを接続する場合、アダプタが必要になる場合があります。くわしくは販売店にご相談ください。



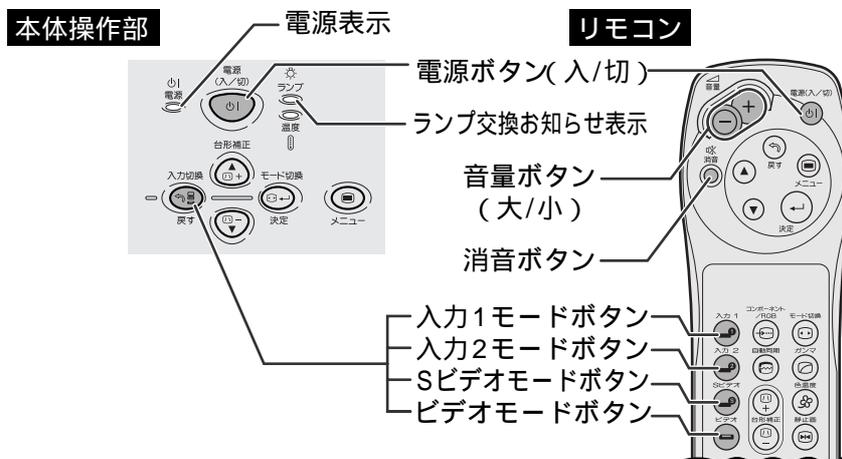
基本操作



投影のしかた

電源を入れてから切るまで

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。



基本操作
投影のしかた

1 電源プラグをコンセントに接続する

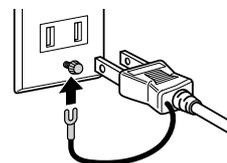
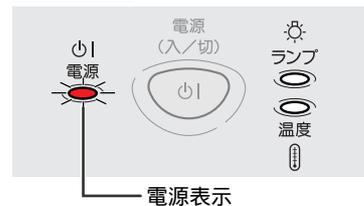
電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

! 注意

電源表示が点滅して投影されないときは、エアフィルターカバー(56ページ)が外れています。確実に取り付けてください。

電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。

本体ランプ



2 電源ボタンを1秒以上押し、起動させる

電源表示が緑色で点灯します。ランプ(光源)の起動中は、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点滅します。起動させると、起動画面が表示されます。

プロジェクターの電源を入れたあと、接続している機器の電源を入れます。

操作は起動画面が消えて映像が投影されてから操作してください。同期調整中(39ページ)の画面が出るまで、電源(入/切)以外の操作はできません。

電源(入/切)



起動画面

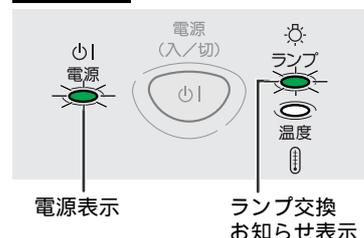


メモ

電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

ランプ交換お知らせ表示はランプ(光源)の状態をお知らせします。
 緑色点灯：光源点灯中
 緑色点滅：光源起動中
 赤色点灯：光源交換

本体ランプ



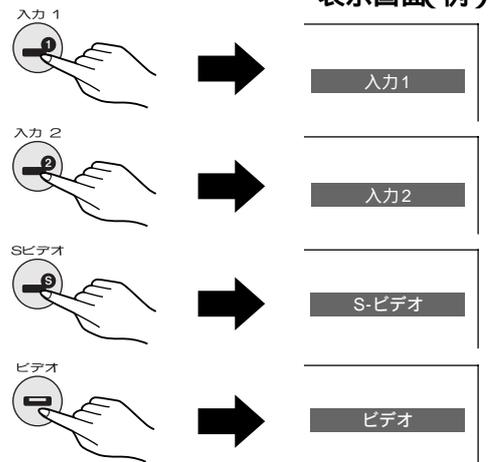
3 入力1モードボタン、入力2モードボタン、Sビデオモードボタン、ビデオモードボタンのいずれかを押して、入力モードを選ぶ



信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで再生できない信号を受けると、「NOT REG」と画面表示されます。

画面のフォーカスが合っていない場合は、26ページの「フォーカス調整」を行ってください。

入力切替操作を行ったときは、自動同期調整が働き、「同期調整中」と「」が画面に表示されます。(映像によっては、同期調整に多少時間のかかる場合があります。)

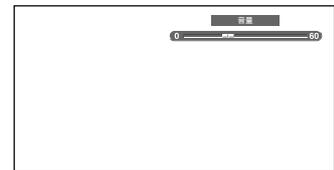
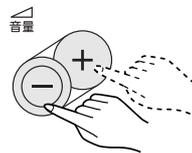


入力モードについて

入力1モード	入力1端子に接続した機器を投影したいとき。
入力2モード	入力2端子に接続した機器を投影したいとき。 入力2端子に接続した機器により、リモコンのコンポーネント/RGBボタンを押して「色差」または「RGB」を表示させ信号タイプを設定してください。くわしくは、20ページをご覧ください。
Sビデオモード	Sビデオ入力端子に接続した機器を投影したいとき。
ビデオモード	ビデオ入力端子に接続した機器を投影したいとき。

4 音量ボタンを押して、音量を調整する

+ (大) を押すと音量が大きくなります。
- (小) を押すと音量が小さくなります。



5 消音ボタンを押して、一時的に音を消す

もう一度消音ボタンを押すと、音量が元の大きさに戻ります。



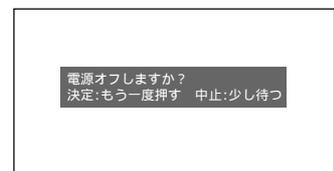
6 電源ボタンを1秒以上間押し、確認画面が表示されている間にもう一度、電源ボタンを押して、終了させる



電源を切るとき、電源ボタンを2回押すと、電源表示が赤色に点灯し、冷却ファンが約90秒間動作します。その後、プロジェクターは待機状態になります。

操作中に間違えて電源ボタンを押したときは、そのまま放置してください。しばらくすると確認画面が消え操作することができます。

電源(入/切)



! 注意

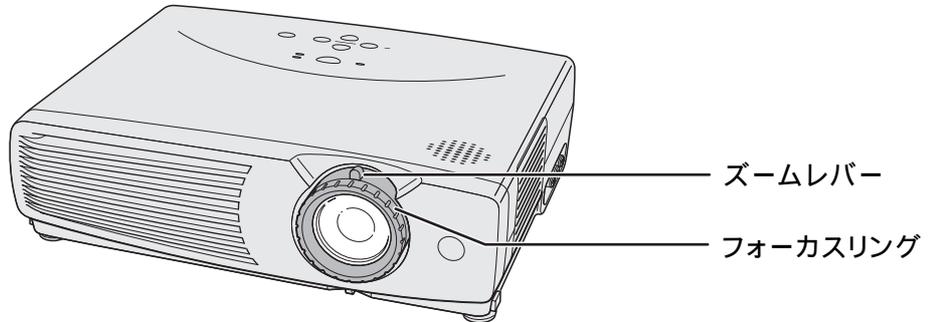
投影中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、内部温度上昇により故障の原因となります。



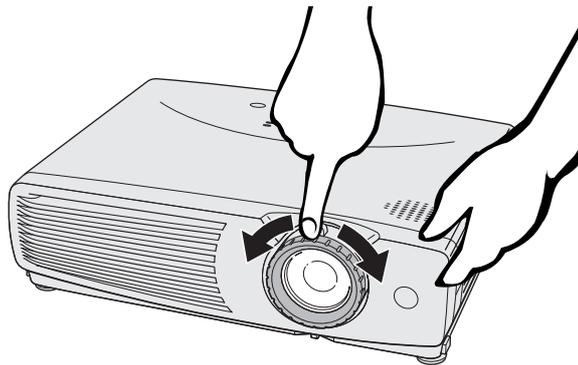
投影のしかた(つづき)

レンズ調整

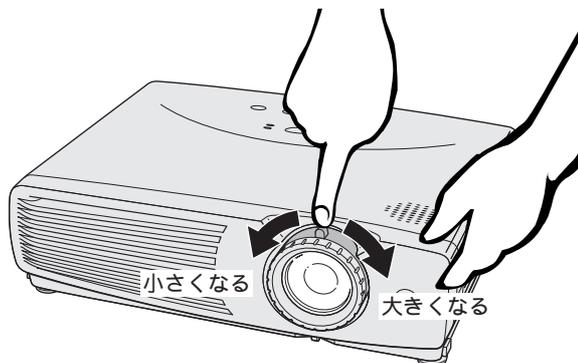
フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。



フォーカス(ピント)調整はフォーカスリングを回して調整します。

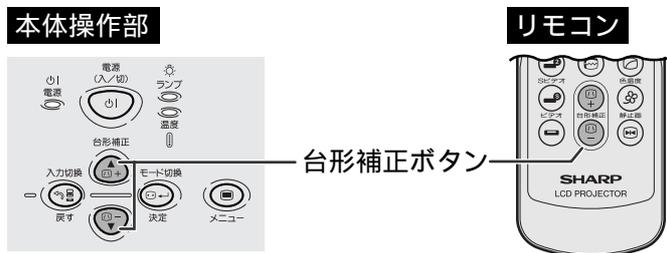


ズーム操作はズームレバーを動かし操作します。



画面の台形歪みを補正する

本体操作部、リモコンを使って画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正が調整できます。



画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正とは
 映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投影すると映像が台形に歪みます。
 この台形を、4:3のアスペクト比を保持しながら補正するのが画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正です。

台形補正ボタンを押すと左のように変わります。



基本操作
 投影のしかた(つづき)

キーストーン補正(台形補正)調整

台形補正ボタン(-)で投影されている下辺を縮めます。
 台形補正ボタン(+)で投影されている上辺を縮めます。

上辺を縮める

下辺を縮める

メモ

キーストーン補正調整をメニュー画面で行うこともできます。調整を行う手順は、メニューボタンを押し、「オプション」を選び、さらに「キーストーン補正」を選び、▲または▼ボタンで調整します。



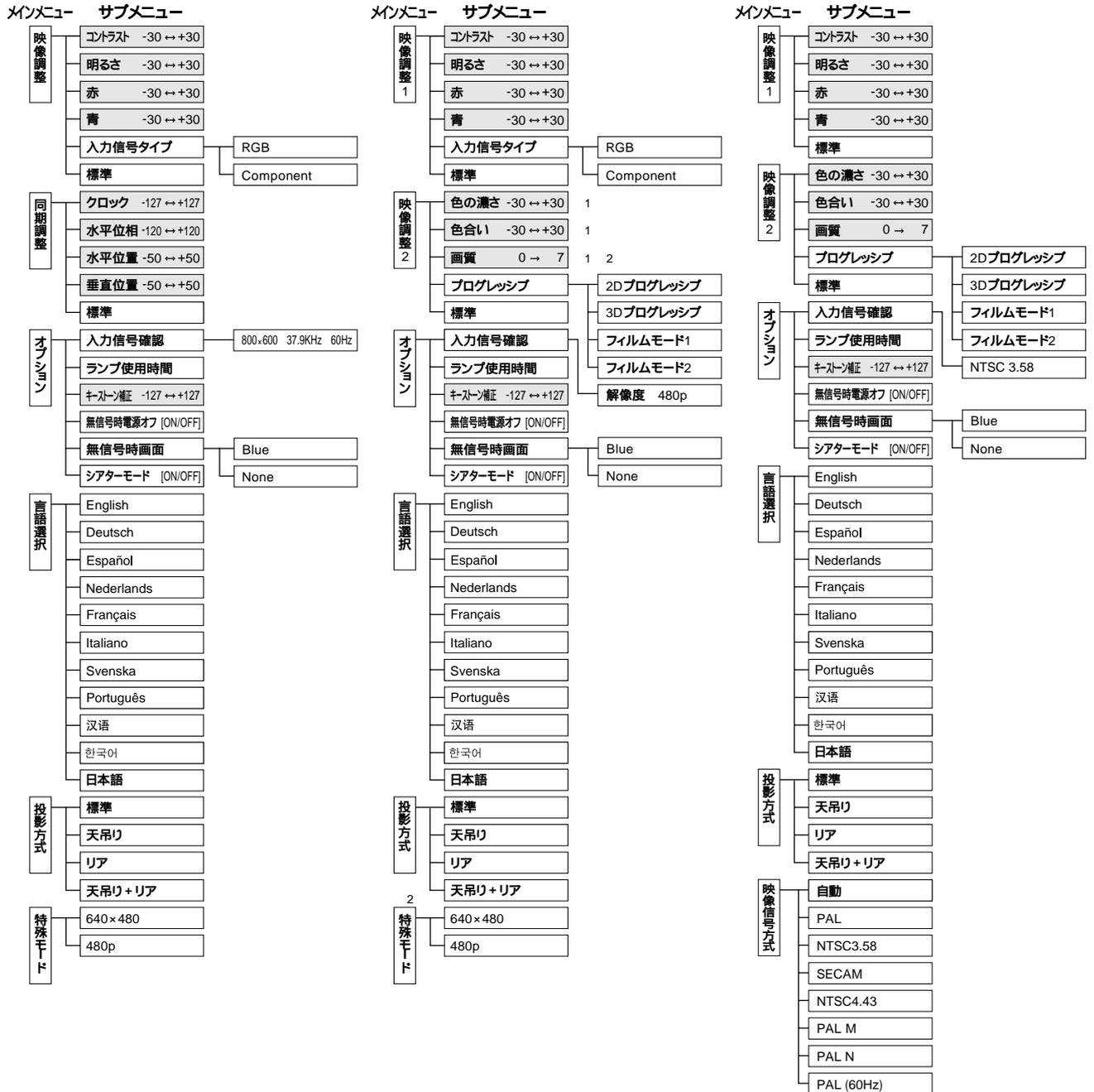
メニューの使いかた

メニュー表示内容一覧

RGBモード(入力2)

コンポーネントモード(入力1/入力2)

Sビデオ、ビデオモード



基本操作

メニューの使いかた



チャートに示された解像度・垂直周波数・水平周波数の値は例として表示しています。

1 入力2モードのとき「色の濃さ」「色合い」「画質」は、入力信号タイプが「RGB」入力に設定されている場合表示されません。

2 入力1モードのとき、特殊モードはありません。

チャートで網かけした項目のみが、調整できる項目です。

メニュー項目別の設定調整内容一覧

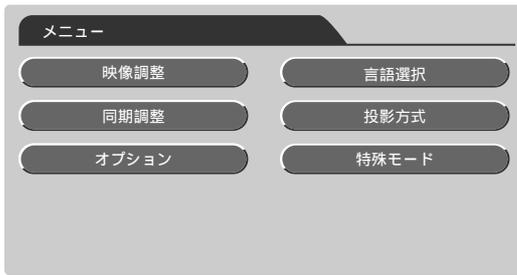
■ 内の数字は参照ページを示します。

メインメニュー	ビデオモードのとき(Sビデオを含む)	入力1 / 入力2モードのとき
映像調整	画像のコントラスト、明るさ、赤 / 青、色の濃さ、色あい、画質 32 プログレッシブモードの設定 49	画像のコントラスト、明るさ、赤 / 青 34 プログレッシブモードの設定 49
同期調整	—————	入力2 (RGB入力) のとき調整できます。 手動による同期調整 (画面のノイズなど映り具合の調整、映像の位置調整) 38
オプション	画面の台形歪み (キーストーン補正) 27 入力信号の確認 41 無信号時電源オフの設定 47 無信号時の画面表示の設定 48 シアターモードの設定 51 ランプ使用時間の表示 52	画面の台形歪み (キーストーン補正) 27 入力信号の確認 41 無信号時電源オフの設定 47 無信号時の画面表示の設定 48 シアターモードの設定 51 ランプ使用時間の表示 52
言語選択	入力表示やメニューで使用する言語の選択 50	入力表示やメニューで使用する言語の選択 50
投影方式	投影方式の切換え (天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに) 42	投影方式の切換え (天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに) 42
映像信号方式	映像信号方式 (PAL、SECAM等) の設定 36	—————
特殊モード	—————	特殊モードの切換え 40

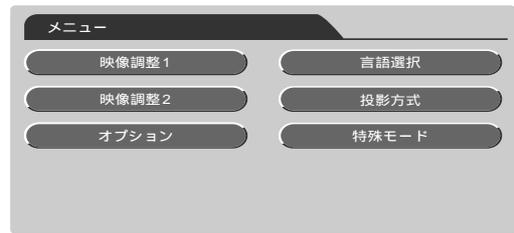
メニューの使いかた(つづき)

このプロジェクターでは、投影画面の調整やいろいろな設定をメニュー画面を使って行います。

RGBモードのメニュー画面(入力2)

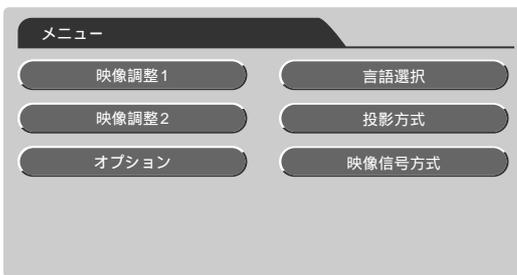


コンポーネントモードのメニュー画面(入力1・2)

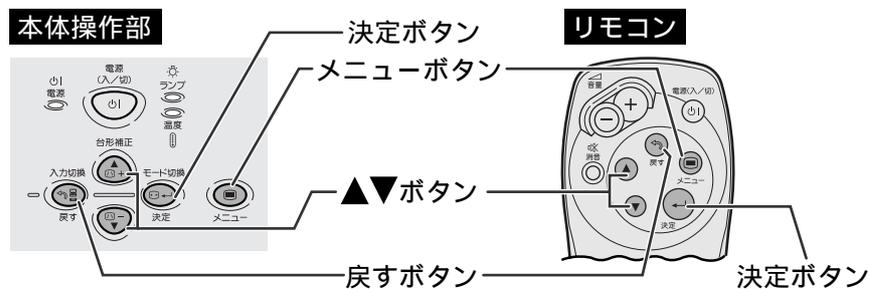


入力1モードのとき **特殊モード** はありません

Sビデオ・ビデオモードのメニュー画面(Sビデオ・ビデオ)

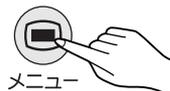


メニューの基本操作



表示画面

1 メニューボタンを押す



「入力1」・「入力2」モードまたは「Sビデオ」・「ビデオ」モードのメインメニュー画面が表示されます。



左図はSビデオ・ビデオモードの場合の表示画面です。

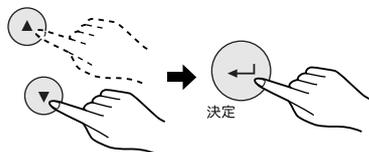


注意
映像信号が入力されていないときは、メニュー操作ができません。

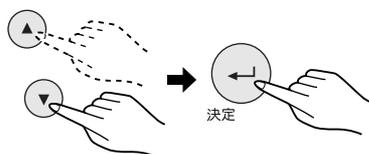


戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

- 2** ▲または▼を押して、調整するメニューを選び、**決定ボタン**を押す

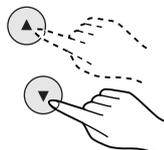


- 3** ▲または▼を押して、調整する項目を選び、**決定ボタン**を押す

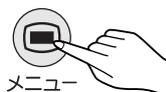


メニューの項目によっては、サブメニューが表示されます。決定ボタンを押して、サブメニューから調整する項目を選びます。

- 4** ▲または▼を押して、選んだ項目の調整をする



- 5** メニューボタンを押して調整を終了する



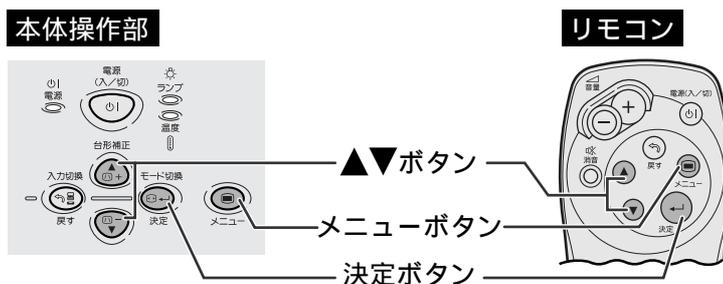
映像を調整する

ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する

ビデオやDVDなどからの映像を表示したとき、濃淡や明るさを見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

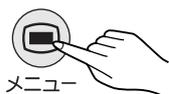
	状 態	▼ボタン	▲ボタン
映像調整 1	コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる 濃くなる
	明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる 明るくなる
	赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる 赤みが強くなる
	青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる 青みが強くなる
	入力信号タイプ	RGB入力とComponent入力を切り換えます。	入力1、Sビデオ入力、ビデオ入力モードではこの項目はありません。
映像調整 2	色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる 濃い色になる
	色合い	色あいを調整したいとき	紫がかかる 緑がかかる
	画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする くっきりする
	プログレッシブ	ビデオ映像のインターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。4種類のモードから選べます。くわしくは49ページをご覧ください。	

基本操作
映像を調整する



表示画面

1 メニューボタンを押す



メインメニュー画面が表示されます。

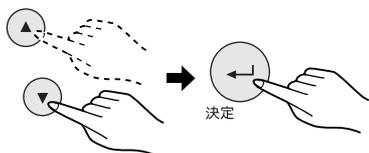


画面調整を行うまえに

入力1モードボタン、入力2モードボタン、またはSビデオ、ビデオボタンを押して、「入力1」、「入力2」または「Sビデオ」、「ビデオ」を選択し、調整する映像を表示させます。



2 ▲または▼を押して、「映像調整1または2」を選び、決定ボタンを押す



メモ

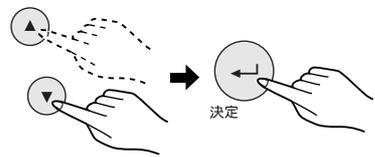
標準設定に戻りたいときは手順③で「標準」を選び、決定ボタンを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

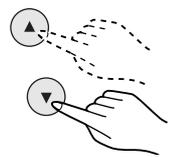
メモ

「入力1」、「入力2」または「Sビデオ」、「ビデオ」のそれぞれで調整した内容が別々に記憶されます。

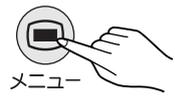
3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す



4 ▲または▼を押して、映像を調整する

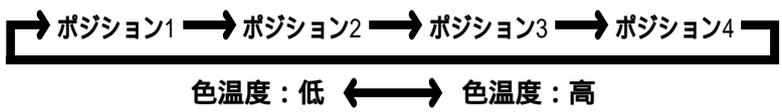


5 メニューボタンを押す
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



色温度について

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



色温度が高くなると、青みがかった映像になります。
色温度が低くなると、赤みがかった映像になります。

リモコン



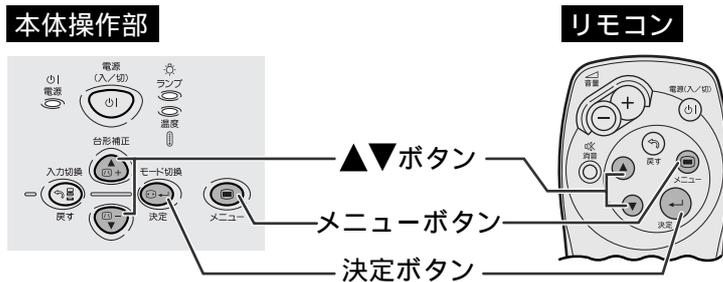
色温度ボタン

映像を調整する(つづき)

コンピュータの映像を調整する

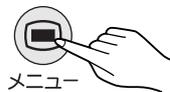
コンピュータの画面を表示したとき、状態に応じてコントラストや明るさなどを調整できます。

調整項目	状態	▼ボタン	▲ボタン
コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
入力信号タイプ	RGB入力とComponent入力を切り換えます		



表示画面

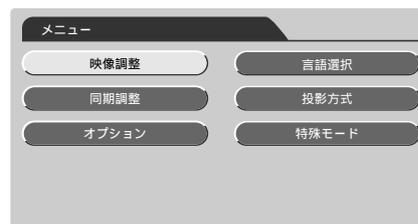
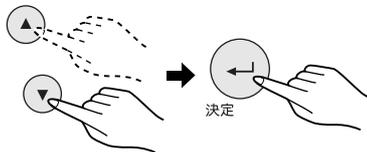
1 メニューボタンを押す



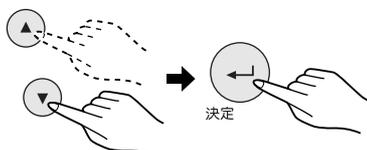
メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「映像調整」を選び、決定ボタンを押す

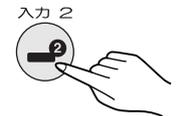


3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す



画面調整を行うまえに

入力2モードボタンを押して、「入力2」を選択し、調整する映像を表示させます。



4 ▲または▼を押して、映像を調整する



メモ

標準設定に戻りたいときは手順③で「標準」を選び、決定ボタンを押します。

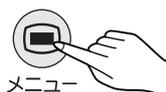
各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

コンピュータの映像調整は、「入力2」で調整した内容が記憶されます。

5 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されていますが、選択されている映像方式で、接続したAV機器の映像が再生できなかった場合は、映像信号方式を切換えてください。

選択項目	項目内容
自動	接続するAV機器によって、映像信号方式を自動的に切り換える
PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
NTSC 3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC 4.43	PAL方式の機器でNTSC方式の映像を再生したとき
PAL M	PAL M方式の映像機器を接続したとき
PAL N	PAL N方式の映像機器を接続したとき
PAL(60Hz)	PAL(60Hz)方式の映像機器を接続したとき

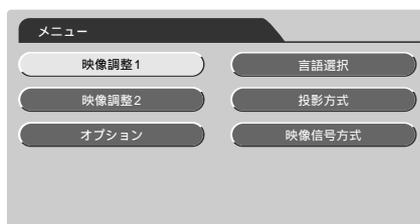


表示画面

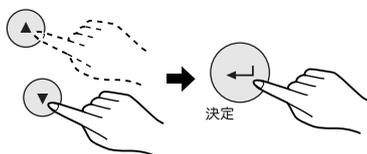
1 メニューボタンを押す



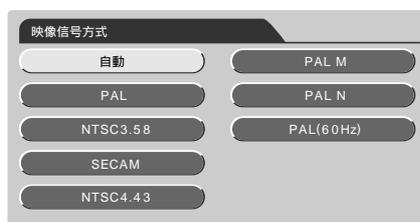
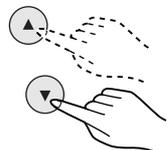
メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「映像信号方式」を選び、決定ボタンを押す



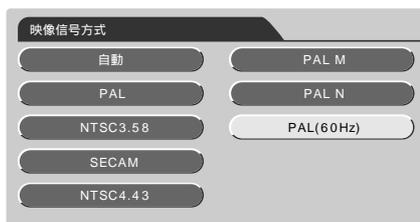
3 ▲または▼を押して、設定したいビデオ入力モードを選ぶ



メモ

映像信号方式が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、ご覧のビデオシステムに切り換えてください。

4 決定ボタンを押して、設定する



「自動」を選んだときは、自動的にメニュー画面が終了します。

5 メニューボタンを押して終了する

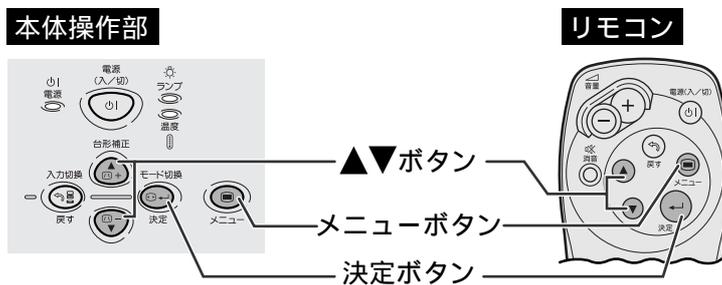


同期調整について

手動同期調整

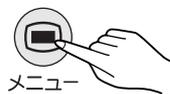
このプロジェクターでは、コンピュータが接続されている場合、自動的に同期調整を行います。自動同期調整が行われている場合でもタイルパターン・縦縞模様などを投影すると、チラツキ・縦縞が出たりコントラストがつかないなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる。



表示画面

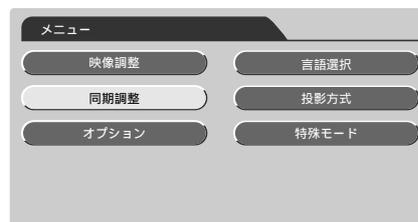
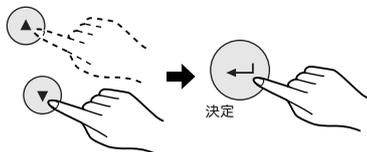
1 メニューボタンを押す



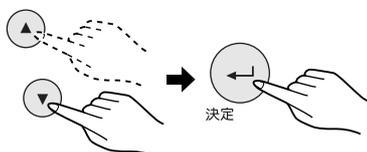
メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「同期調整」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す



メモ

標準設定に戻りたいときは手順③で「標準」を選び、決定ボタンを押します。

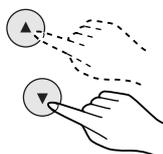
各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

入力される信号によっては調整範囲が狭くなる場合があります。

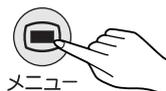
(カーソルの可動範囲が狭くなります。)

4 ▲または▼を押して、画面を調整する



5 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



自動同期調整について

コンピュータの画面が最善になるよう自動的に同期調整を行います。
プロジェクターにコンピュータが接続された状態で、プロジェクターの入力を切り換えたときに、自動で同期調整ができなかったときは、リモコンの「自動同期」調整ボタンを押して、同期調整をします。
自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で調整してください。(38ページをご覧ください。)



自動同期調整中は、「同期調整中」と「」が画面に表示されます。

プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、自動同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。



リモコン

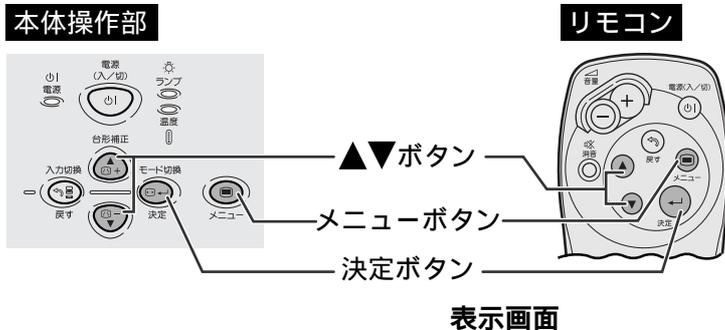


自動同期調整ボタン

同期調整について(つづき)

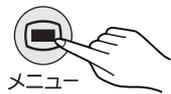
特殊モード調整

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、メニュー画面で「特殊モード」を選び、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

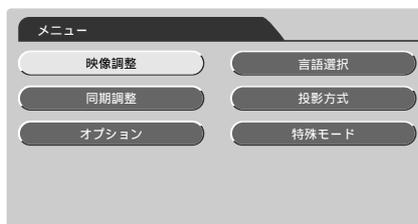


表示画面

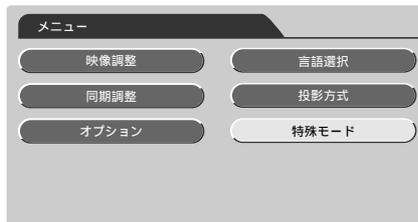
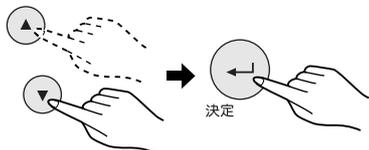
1 メニューボタンを押す



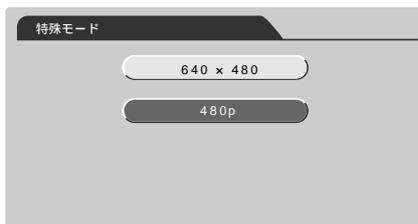
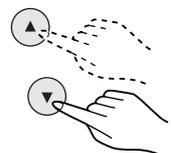
メインメニュー画面が表示されます。



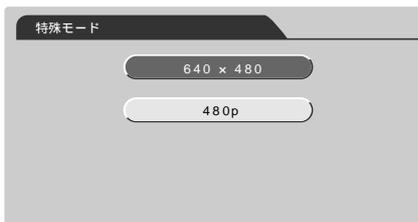
2 ▲または▼を押して、「特殊モード」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、最適な解像度モードを選ぶ

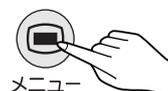


4 決定ボタンを押して、設定する



5 メニューボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



メモ

コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(チラツキがおこり、画面が見にくくなります。)

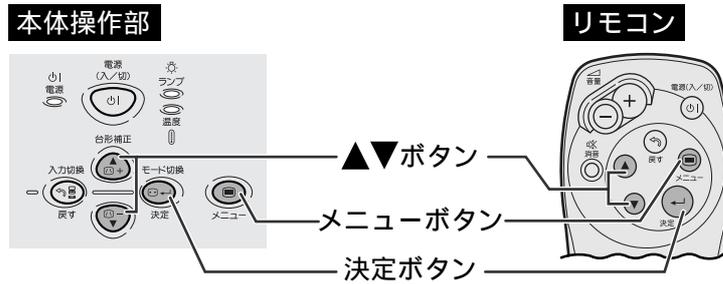
DVDまたは、MUSEデコーダを480pモードで接続しているときは、③で480pが表示されますので、選択してください。

* 本機は入力される信号に対し、有効走査線数を表示します。表示は次のようになります。

入力信号	本機の表示
525i	480i
525p	480p
750p	720p
1125i	1080i

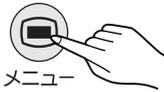
入力信号を確認する

この機能を使って、現在入力されている信号を確認することができます。

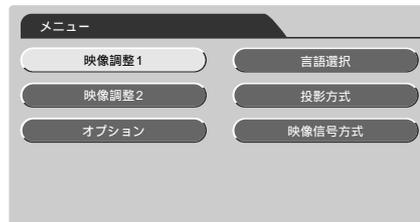


表示画面

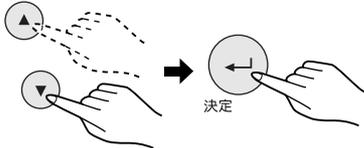
1 メニューボタンを押す



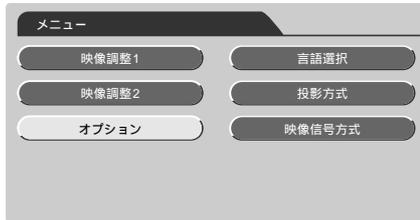
メインメニュー画面が表示されます。



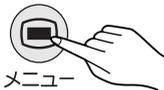
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



入力信号の内容が表示されます。



3 メニューボタンを押して終了する





映像の左右反転 / 上下反転のしかた

このプロジェクターは投影された映像を左右反転・上下反転することができ、設置状況に合わせた投影方式が設定できます。

標準



通常映像

天吊り



上下反転された映像

リア



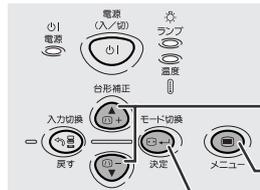
左右反転された映像

天吊り+リア



上下 / 左右反転された映像

本体操作部

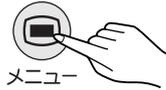


リモコン



表示画面

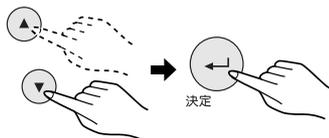
1 メニューボタンを押す



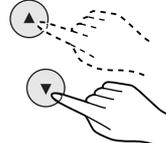
メインメニュー画面が表示されます。



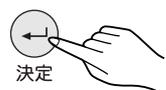
2 ▲または▼を押して、「投影方式」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、投影方式を選ぶ



4 決定ボタンを押して、設定する

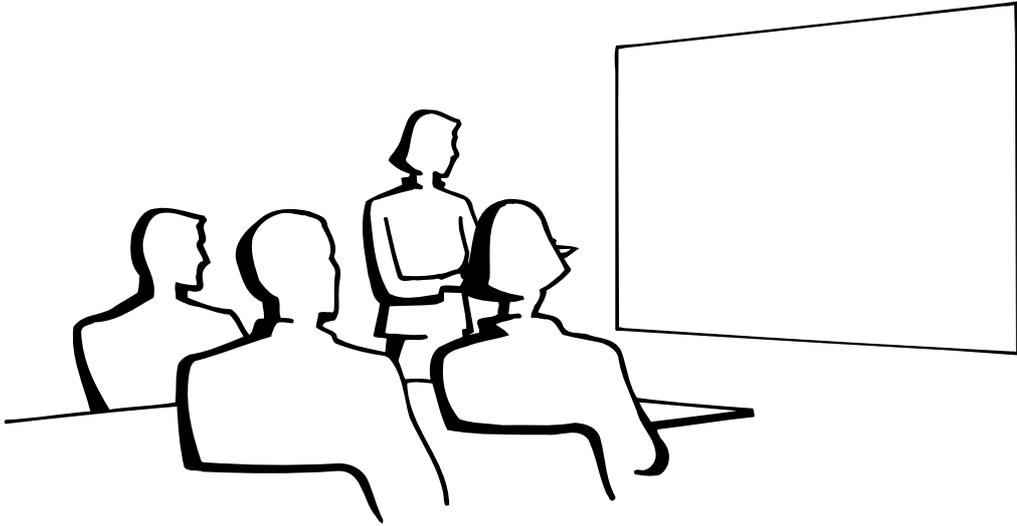


5 メニューボタンを押して終了する





便利な機能を使う



静止画機能

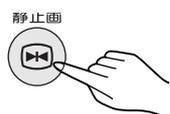
静止画機能を使うと、瞬時に動画を静止画としてメモリーすることができます。

リモコン

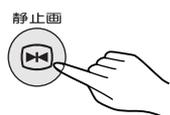


表示画面

- 1 静止画ボタンを押して、映像を静止画としてメモリーする



- 2 静止画ボタンを再度押すと、接続した機器の現在の映像に戻る



フリーズ(静止画)機能

便利な機能を使う

ガンマ補正

映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

選択項目	適した映像	補正内容
標準		高コントラストと色再現性を重視した鮮鋭映像ポジション
ガンマ1	映画など	コントラストとギラツキを抑え、しっとりとした映像を再現するポジション
ガンマ2	テレビ	明るい部屋での視聴に適したポジション

リモコン



ガンマ補正ボタン

1 ガンマ補正ボタンを押す



ガンマ補正ボタンを押す度にガンマレベルが下画面のように変わります。

表示画面



標準



ガンマ 1



ガンマ 2



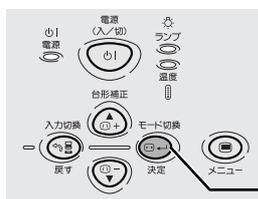
画像表示モードを選ぶ

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを修正したり、カスタマイズすることができます。入力信号の種類によって、「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ノーマル」を選んでください。

1 モード切換ボタンを押す

モード切換ボタンを押す度に、画像表示モードは下記のように変わります。

本体操作部



リモコン



モード
切換ボタン

	入力信号	ズーム	スクイーズ(フル)	ノーマル
ビデオ	525i/525p	800×600	800×450	600×450
	750p/1125i	-	800×450	-
コンピュータ	VGA/SVGA/XGA/SXGA	800×600	-	-

本機に表示される入力信号は、有効走査線数が表示されます。くわしくは、40ページをご覧ください。

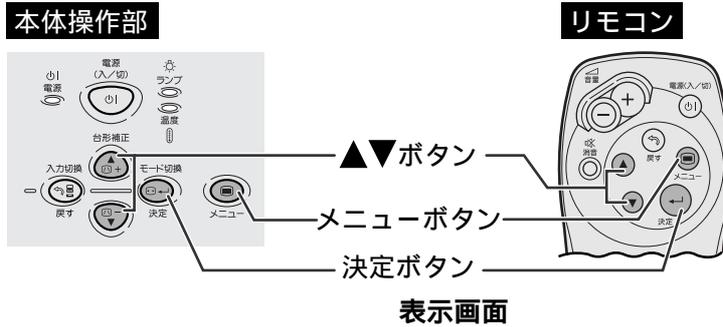
	ズーム	スクイーズ(フル)	ノーマル
アスペクト(縦横)比4:3の525i/525pの映像 ズーム、またはノーマルを選ぶと正しい比率の映像になります。			
シネマサイズの525i/525pの映像 ズーム、またはノーマルを選ぶと正しい比率の映像になります。			
アスペクト(縦横)比4:3(スクイーズ記録)の525i/525pの映像 スクイーズ(フル)を選ぶと正しい比率の映像になります。			
750p/1125iの映像 スクイーズ(フル)が選ばれ、固定されます。			
VGA/SVGA/XGA/SXGAのコンピュータ映像 ズームが選ばれ、固定されます。			

メモ

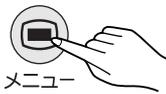
VGAテキストモード(640×350)入力時やコンピュータ以外のRGB信号入力時も表示はズームモード固定になり、画面全体に表示されます。

無信号時電源オフモードを選ぶ

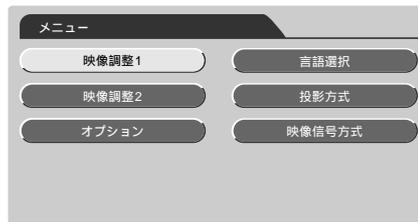
この機能を使うと、プロジェクターに信号が入力されていない状態が15分間続いた場合、自動的に電源を切ることができます。



1 メニューボタンを押す



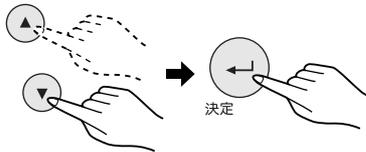
メインメニュー画面が表示されます。



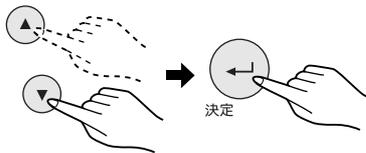
メモ

自動電源オフ機能が「ON」のとき、15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に電源を切ります。5分前になると「電源オフ 分前」の表示がでます。

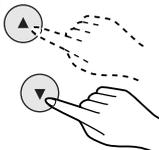
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「無信号時電源オフ」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



5 メニューボタンを押す

表示が消え、設定した内容が記憶されます。

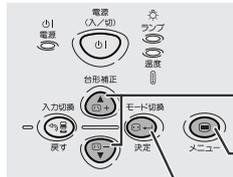


無信号時に表示する画面を設定する

この機能を使って、プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選びます。

選択項目	無信号時画面
Blue	青い画面
None	黒い画面

本体操作部



リモコン



▲▼ボタン

メニューボタン

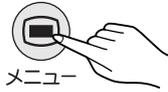
決定ボタン

表示画面

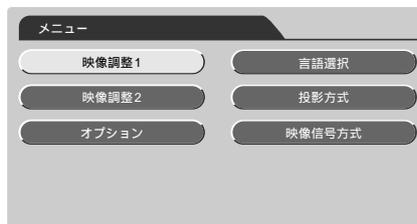
無信号時に表示する画面を設定する

便利な機能を使う

1 メニューボタンを押す

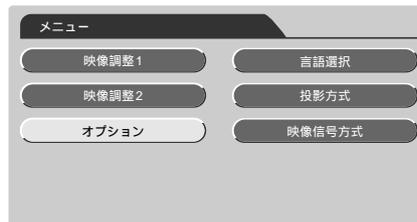
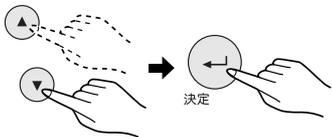


メインメニュー画面が表示されます。

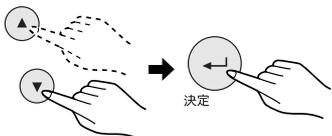


BLUE(青い画面)は4:3のフル表示になります。

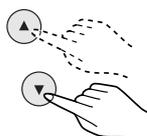
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



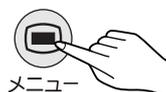
3 ▲または▼を押して、「無信号時画面」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲または▼を押して、無信号時、スクリーンに表示したい画面を選ぶ(Blue、またはNone)

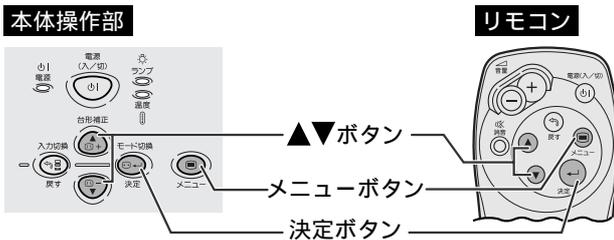


5 メニューボタンを押して終了する。



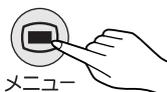
プログレッシブモードを選ぶ

ビデオ映像のインターレース信号をプログレッシブ信号に変換することができます。プログレッシブ信号に変換すると、見やすい映像を投影することができます。

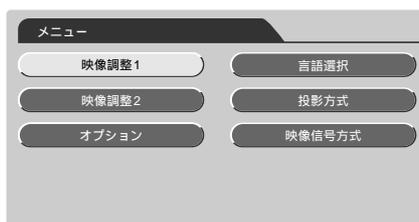


表示画面

1 メニューボタンを押す



メインメニュー画面が表示されます。



メモ

本機では以下の4つのモードを持っています。

2D プログレッシブ
スポーツやアクションなど動きの速い画像に有効です。

3D プログレッシブ
静止画やドラマやドキュメンタリーなど動きの遅い画像に有効です。

フィルムモード1
アクション映画など動きの速いフィルムソースに有効です。

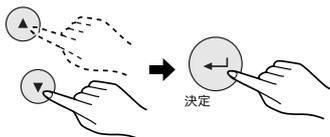
フィルムモード2
静止画やドキュメンタリーなど動きの遅いフィルムソースに有効です。

フィルムソースとは、24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどのことです。

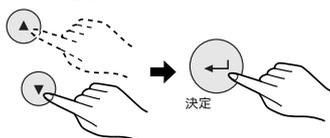
本機はそのような映像を60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。

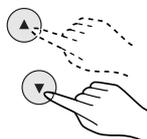
2 ▲または▼を押して、「映像調整2」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「プログレッシブモード」を選び、決定ボタンを押す



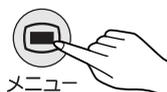
4 ▲または▼を押して、最適な項目を選ぶ



5 決定ボタンを押して、設定する



6 メニューボタンを押して終了する

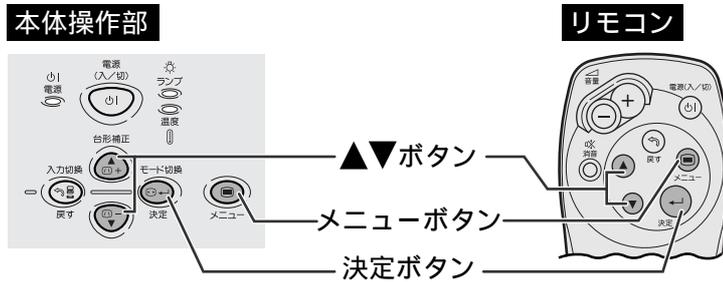


プログレッシブモードを選ぶ

便利な機能を使う

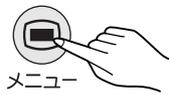
画面表示言語を選ぶ

表示画面の言語として、工場出荷時、日本語が設定されています。英語・ドイツ語・スペイン語・オランダ語・フランス語・イタリア語・スウェーデン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語に切り換えることができます。

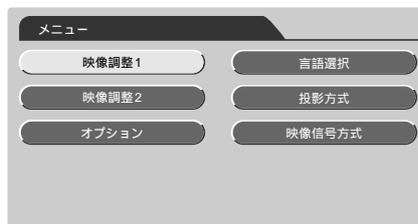


表示画面

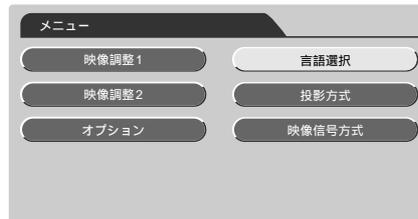
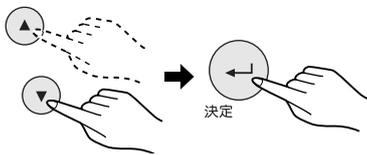
1 メニューボタンを押す



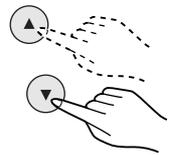
メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「言語選択」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、表示したい言語を選ぶ



4 決定ボタンを押して、設定する



表示画面が選択された言語で表示されます。



5 メニューボタンを押して終了する



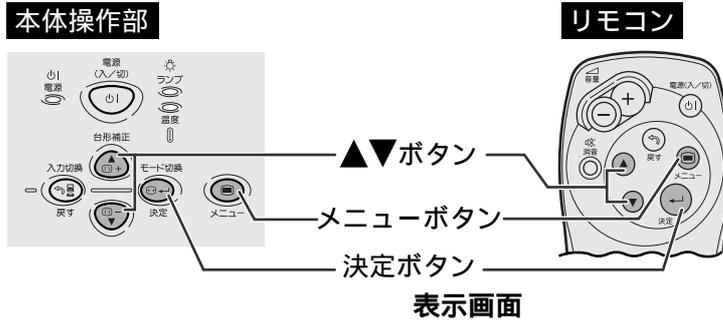
メモ

左の例は、日本語から英語に切換える例です。

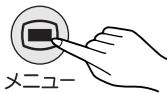


シアター(明るさ)モード切換えのしかた

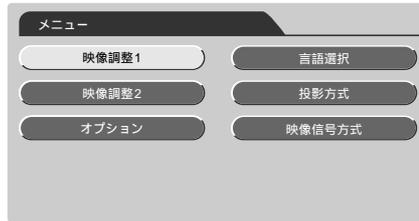
投射される光の量を2段階に切り換えることができます。画面の明るさを見ながら、お好みの状態に設定してください。



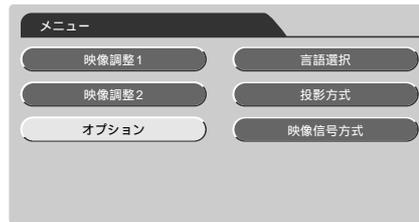
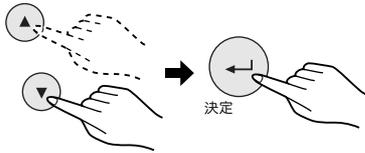
1 メニューボタンを押す



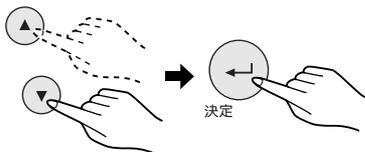
メインメニュー画面が表示されます。



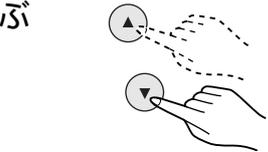
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「シアターモード」を選び、決定ボタンを押します。

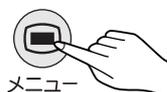


4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



5 メニューボタンを押して終了する

表示が消え、設定した内容が記憶されます。



メモ

シアターモード
OFF・・・光の量が100%の状態です。

ON・・・光の量が「OFF」に対して70%の状態です。

工場出荷時は「ON」に設定されています。

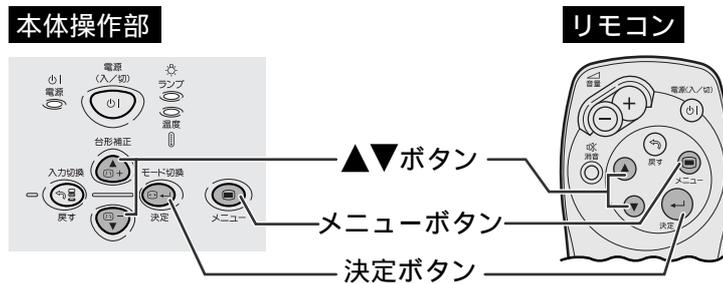
シアターモードを「OFF」にすると冷却ファンの回転が早まり、ファン音が大きくなります。

シアターモード「ON」時でも内部温度が上昇すると冷却のため、冷却ファンの回転が早まりファン音が大きくなります。



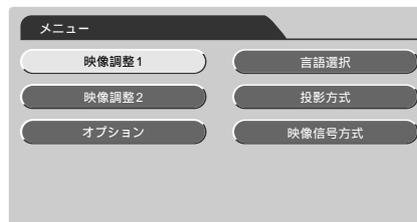
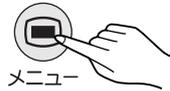
ランプ(光源)の使用時間を確認する

この機能を使って、ランプ(光源)の総使用時間を確認することができます。

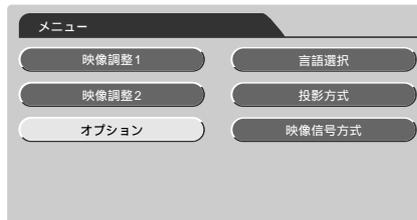
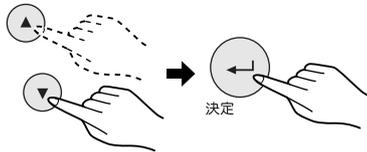


表示画面

1 メニューボタンを押す

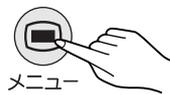


2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



ランプ(光源)の使用時間が表示されます。

3 メニューボタンを押して終了する

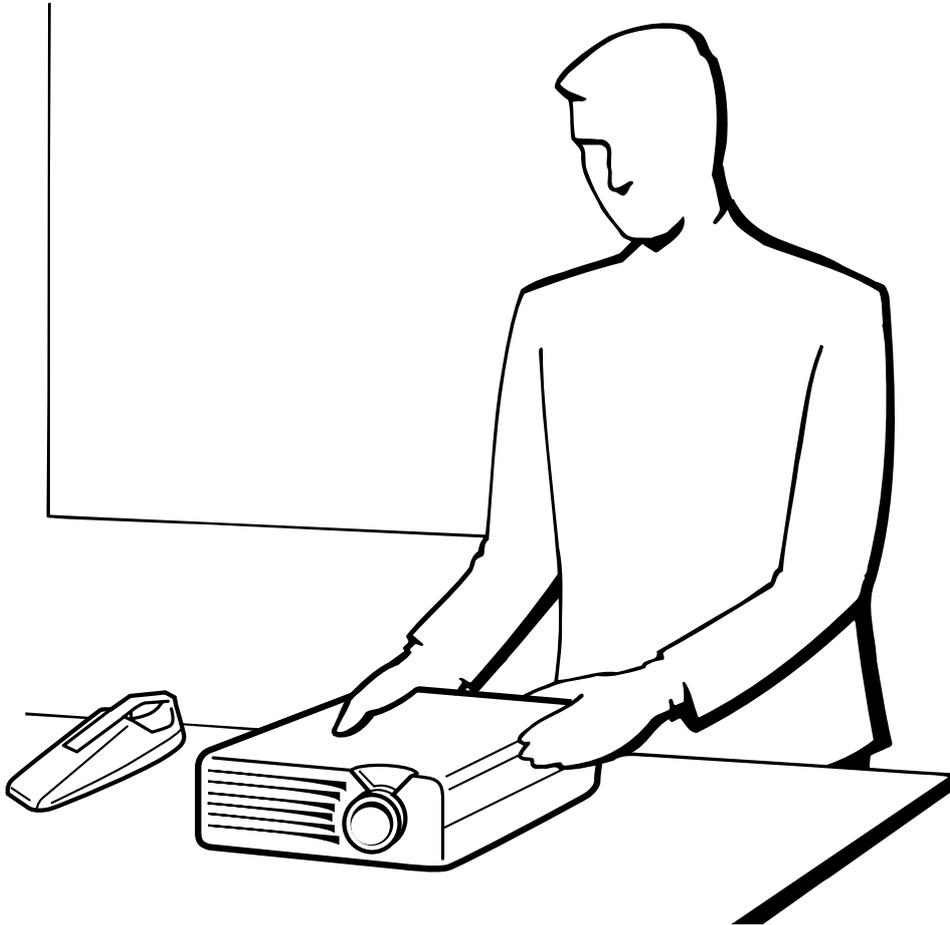


メモ

ランプ(光源)は約900時間の使用で交換することをお奨めします。ランプの交換は、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。



正しくお使いいただくために





お知らせ表示 / ランプ(光源)について

お知らせ表示について

本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。

お知らせ表示には温度モニターお知らせ表示とランプ交換お知らせ表示があります。

内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。

温度モニター機能について

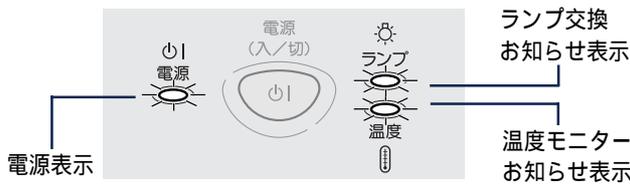
設置状況やエアフィルターが目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプ(光源)が消灯し温度モニターお知らせ表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。

温度

ランプ交換お知らせ機能について

ランプの総使用時間が900時間を越えると、画面に黄色で“ランプ”が表示され、1000時間になると“ランプ”表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

ランプ



お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
温度モニター お知らせ表示	正常	内部温度が高温になっている。	●通風孔がふさがれている。	●正しい設置場所に設置してください。
	消灯		●エアフィルターの目づまり	●56ページの手順に従ってフィルターの手入れをしてください。
	赤色点滅		●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障	●販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口にご相談ください。
ランプ交換 お知らせ表示	緑色点灯 (緑色点滅は 光源起動中)	ランプ(光源)が 点灯しない	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	●ランプ(光源)の交換を販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。 ●販売店に修理またはランプの交換を依頼してください。
電源表示	赤/緑色点灯	ランプ(光源)が 点灯しない	●エアフィルターカバーが外れている	●57ページの⑤を行い、フィルターカバーを確実に取り付けてください。

！ 注意

温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)

一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。

プロジェクターの動作中にエアフィルターの掃除または交換を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。



ランプ(光源)について

光源として使われているランプは、総使用時間が約 1,000 時間で寿命です。900 時間を越えたら、なるべく早めに新しい光源ランプ(別売)と取り替えてください。また、900 時間を越えてなくても映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりした場合は取り替えてください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(52 ページ参照)

ランプの保証期間は、6 ヶ月 1000 時間以内です。6 ヶ月以内でも 1000 時間を超えたり、1000 時間以内でも 6 ヶ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

光源ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。

光源ランプの取り替えは、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(66 ページ)にお問い合わせください。

 **注意** 光源の光は有害です。プロジェクターを操作しているときは、プロジェクターの部品やレンズをのぞきこまないでください。

 **メモ** プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は 1,000 時間以下になることがあります。



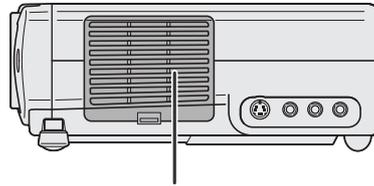


お手入れのしかた

エアークフィルターの交換のしかた

エアークフィルターのお手入れ(58ページ)を行ってもほこりが落ちなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属のエアークフィルターと交換してください。

本体左側面

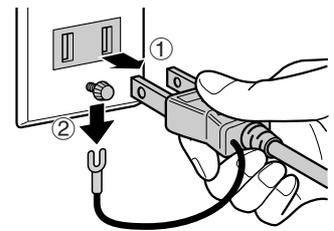


エアークフィルター部

エアークフィルターの交換

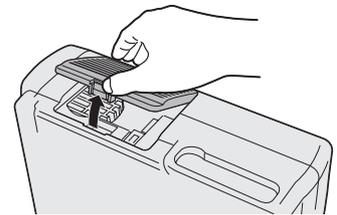
1 電源プラグをコンセントから抜く

アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



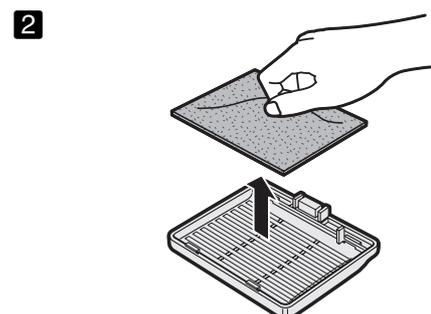
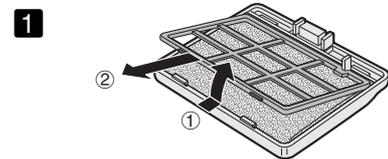
2 フィルターカバーを外す

矢印の方向にフィルターカバーの爪を押しながら上に引いて、取り外します。



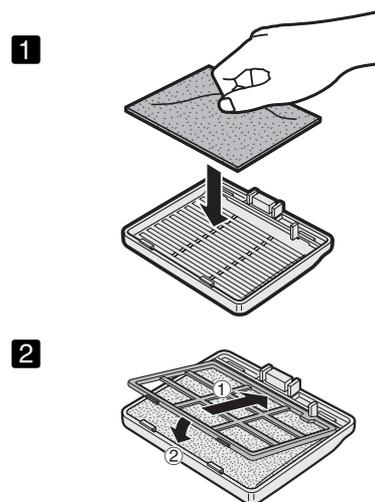
3 エアークフィルターを外す

- 1 フィルター押さえを外します。
- 2 エアークフィルターを外します。



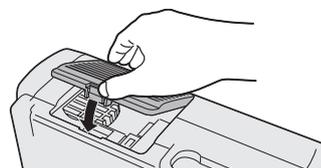
4 新しいエアフィルターを取り付ける

- 1 新しいエアフィルターを取り付けます。
- 2 フィルター押さえを元どおりに取り付けます。



5 フィルターカバーを取り付ける

フィルターカバーの2つの爪を本体側の溝にさし込み、閉じます。



! 注意

プロジェクターの動作中にエアフィルターの交換を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

メモ

フィルターカバーは、確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、電源が入らなくなっています。電源を入れようとしたときに、電源表示が赤で点滅します。

エアフィルターをご購入の際は、販売店またはシャープお客様ご相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。

キャビネットの手入れのしかた

キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

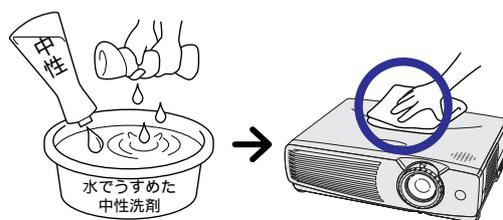
殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

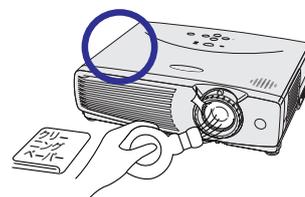
汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



レンズの手入れのしかた

レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



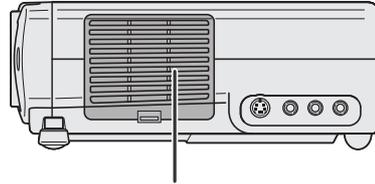


お手入れのしかた(つづき)

エアークリナーのお手入れのしかた

エアークリナーは、約100時間使用を目安に掃除を行ってください。特にほこりの多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。

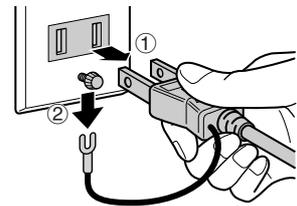
本体左側面



エアークリナー部

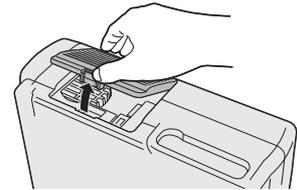
1 電源プラグをコンセントから抜く

アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



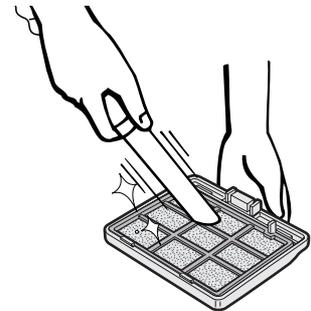
2 フィルターカバーを外す

矢印の方向にフィルターカバーの爪を押しながら上に引いて、取り外します。



3 エアークリナーを掃除する

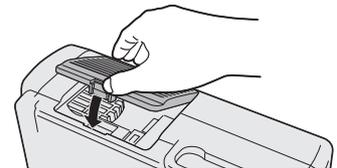
掃除機でエアークリナーおよびフィルターカバーのほこりを吸い取ります。



4 フィルターカバーを取り付ける

フィルターカバーの2つの爪を本体側の溝にさし込み、閉じます。

フィルターカバーは確実に取り付けてください。確実に取り付けないと電源が入りません。電源を入れようとしたとき、電源表示が赤で点滅します。



! 注意

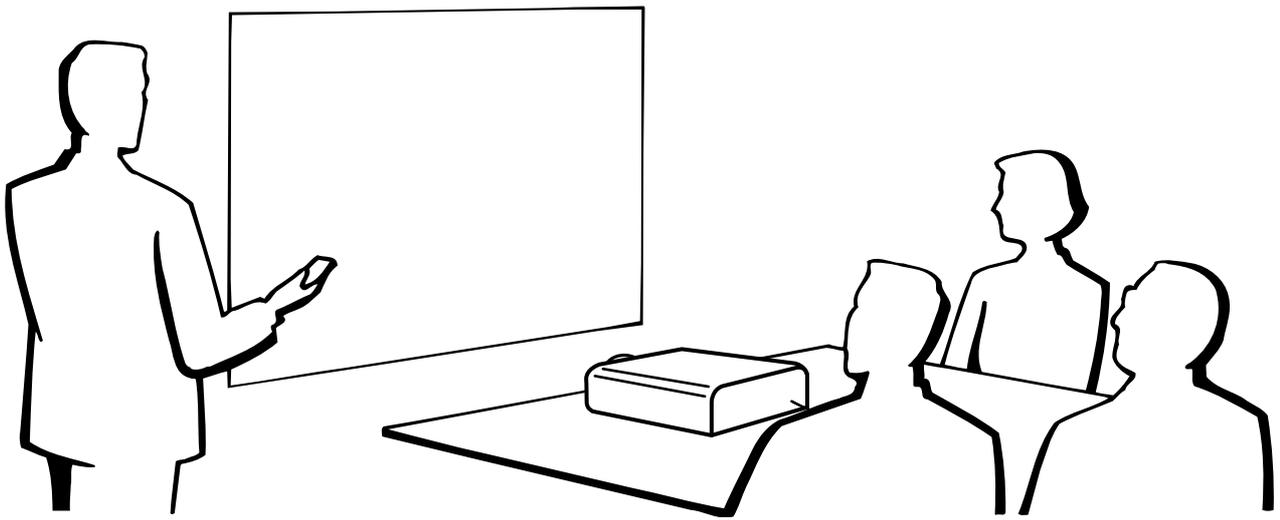
プロジェクターの動作中にエアークリナーの掃除を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。





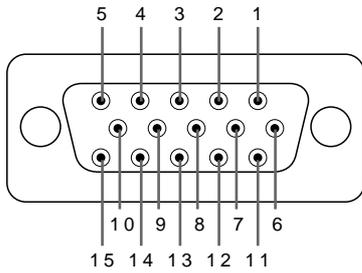
付録





本体のコネクタのピン配置

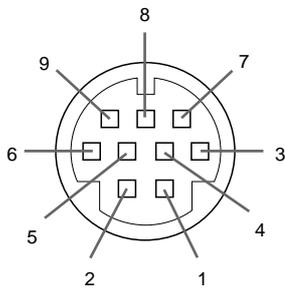
コンピュータRGB入力端子(IN2)、15ピンミニD-subコネクタ (メス)



ピン番号	信号名
1.	映像入力 (赤)
2.	映像入力 (緑)
3.	映像入力 (青)
4.	NC
5.	複合同期信号
6.	接地 (映像赤)
7.	接地 (映像緑)

ピン番号	信号名
8.	接地 (映像青)
9.	NC
10.	NC
11.	接地
12.	データ
13.	水平同期信号 (複合同期信号)
14.	垂直同期信号
15.	クロック

PCコントロールケーブル : RS-232Cコネクタ 9ピンミニDINコネクタ (メス)



ピン番号	信号	信号名	I/O	備考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7				NC
8				NC
9				NC





RS-232C ポート仕様

コンピュータによるプロジェクターの制御について

この操作システムはコンピュータを使い慣れた方のご利用をお願いいたします。

プログラムを組むとRS-232Cコネクタを使って、コンピュータで本機を制御することができます。入力信号(コンピュータ/ビデオ)の切り換えや音量調節のほか、各種調整や設定も制御できますので、プログラムによる自動上映が可能です。

接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス・メス-メスタイプ)をご用意ください。

通信仕様

コンピュータ側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
本機の仕様は、以下のとおりです。

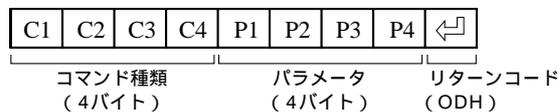
ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

コンピュータからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて、動作し、レスポンスメッセージをコンピュータ側に送ります。

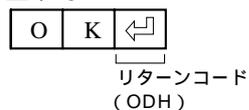
複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(コンピュータ → 本機)

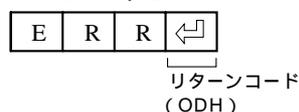


レスポンス(本機 → コンピュータ)

正常時



異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったときや、範囲外の数値を指定したとき)



メモ

プロジェクターのコンピュータ制御機能を使用するとき、プロジェクターの動作状況をコンピュータに読ませることはできません。

受送信の例

「入力1」モードの「映像調整」の「明るさ」を-10に設定する。





RS-232Cポート仕様(つづき)

コマンド一覧

"パラメータ"の中でダッシュ(_)で表記されている箇所はスペースを指定します。アスタリスク(*)で表記されている箇所は「制御内容」の()内の中の範囲で数値を指定します。

制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容	
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4		
無信号時電源オフ ON/OFF	A	P	O	W	_	_	_	0	無信号時電源・OFF	
	A	P	O	W	_	_	_	1	無信号時電源・ON	
電源・ON/OFF	P	O	W	R	_	_	_	0	電源・OFF(待機状態)	
	P	O	W	R	_	_	_	1	電源・ON	
入力切り換え	I	V	E	D	_	_	_	1	Sビデオ	
	I	V	E	D	_	_	_	2	ビデオ	
	I	R	G	B	_	_	_	1	入力1	
	I	R	G	B	_	_	_	2	入力2	
入力確認	I	C	H	K	_	_	_	0	入力確認表示	
台形補正調整	K	E	Y	S	*	*	*	*	台形補正 (- 127 ~ + 127)	
表示言語切り換え	M	E	L	A	_	_	_	1	英語	
	M	E	L	A	_	_	_	2	ドイツ語	
	M	E	L	A	_	_	_	3	スペイン語	
	M	E	L	A	_	_	_	4	オランダ語	
	M	E	L	A	_	_	_	5	フランス語	
	M	E	L	A	_	_	_	6	イタリア語	
	M	E	L	A	_	_	_	7	スウェーデン語	
	M	E	L	A	_	_	_	8	ポルトガル語	
	M	E	L	A	_	_	_	9	中国語	
	M	E	L	A	_	_	1	0	韓国語	
Sビデオ/コンテント選択時	M	E	L	A	_	_	1	1	日本語	
	M	E	S	Y	_	_	_	1	自動	
	M	E	S	Y	_	_	_	2	PAL	
	M	E	S	Y	_	_	_	3	NTSC 3.58	
	M	E	S	Y	_	_	_	4	SECAM	
	M	E	S	Y	_	_	_	5	NTSC 4.43	
	M	E	S	Y	_	_	_	6	PAL (M)	
	M	E	S	Y	_	_	_	7	PAL (N)	
Sビデオ/コンテント選択時	M	E	S	Y	_	_	_	8	PAL (60Hz)	
	V	A	P	I	_	*	*	*	コントラスト (- 30 ~ + 30)	
	V	A	B	R	_	*	*	*	明るさ (- 30 ~ + 30)	
	V	A	R	D	_	*	*	*	赤 (- 30 ~ + 30)	
	V	A	B	E	_	*	*	*	青 (- 30 ~ + 30)	
	V	A	R	E	_	_	_	1	標準	
	V	A	C	O	_	*	*	*	色の濃さ (- 30 ~ + 30)	
	V	A	T	I	_	*	*	*	色合い (- 30 ~ + 30)	
	V	A	S	H	_	_	_	*	画質(0 ~ 7)	
	V	A	R	E	_	_	_	2	標準	
色温度調整	V	A	C	T	_	_	_	*	色温度 (1 ~ 4)	
コンテント/メニュー選択時	R	A	P	I	_	*	*	*	コントラスト (- 30 ~ + 30)	
	R	A	B	R	_	*	*	*	明るさ (- 30 ~ + 30)	
	R	A	R	D	_	*	*	*	赤 (- 30 ~ + 30)	
	R	A	B	E	_	*	*	*	青 (- 30 ~ + 30)	
	R	A	R	E	_	_	_	1	標準	
	R	A	C	O	_	*	*	*	色の濃さ (- 30 ~ + 30)	
	R	A	T	I	_	*	*	*	色合い (- 30 ~ + 30)	
	R	A	S	H	_	_	_	*	画質 (0 ~ 7)	
	R	A	R	E	_	_	_	2	標準	
	色温度調整	R	A	C	T	_	_	_	*	色温度 (1 ~ 4)
RGB選択時	R	B	P	I	_	*	*	*	コントラスト (- 30 ~ + 30)	
	R	B	B	R	_	*	*	*	明るさ (- 30 ~ + 30)	
	R	B	R	D	_	*	*	*	赤 (- 30 ~ + 30)	
	R	B	B	E	_	*	*	*	青 (- 30 ~ + 30)	
	R	B	R	E	_	_	_	1	標準	
	色温度調整	R	B	C	T	_	_	_	*	色温度 (1 ~ 4)
	無信号時画面表示選択	I	M	B	G	_	_	_	3	Blue
		I	M	B	G	_	_	_	4	None
	音量調整	V	O	L	A	_	_	*	*	音量 (0 ~ 60)
		M	U	T	E	_	_	_	1	消音
M		U	T	E	_	_	_	0	消音取り消し	

制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	
画面設定	I	M	R	E	_	_	_	0	左右反転[オフ]
	I	M	R	E	_	_	_	1	左右反転[オン]
	I	M	I	N	_	_	_	0	上下反転[オフ]
	I	M	I	N	_	_	_	1	上下反転[オン]
	I	M	I	P	_	_	_	0	プログレッシブ2D
	I	M	I	P	_	_	_	1	プログレッシブ3D
	I	M	I	P	_	_	_	2	フィルムモード1
	I	M	I	P	_	_	_	3	フィルムモード2
入力2信号タイプ設定	I	B	S	I	_	_	_	1	RGB
	I	B	S	I	_	_	_	2	Component
入力1モード切換	R	A	S	R	_	_	_	1	ズーム
	R	A	S	R	_	_	_	2	スクイーズ(フル)
	R	A	S	R	_	_	_	3	ノーマル
入力2モード切換	R	B	S	R	_	_	_	1	ズーム
	R	B	S	R	_	_	_	2	スクイーズ(フル)
	R	B	S	R	_	_	_	3	ノーマル
Sビデオ/ビデオモード切換	R	A	S	V	_	_	_	1	ズーム
	R	A	S	V	_	_	_	2	スクイーズ(フル)
	R	A	S	V	_	_	_	3	ノーマル
入力1/Sビデオ/ビデオガンマ設定	G	A	M	V	_	_	_	1	標準
	G	A	M	V	_	_	_	2	ガンマ1
	G	A	M	V	_	_	_	3	ガンマ2
入力2ガンマ設定	G	A	M	R	_	_	_	1	標準
	G	A	M	R	_	_	_	2	ガンマ1
	G	A	M	R	_	_	_	3	ガンマ2
自動同期調整	A	D	J	S	_	_	_	1	自動同期調整

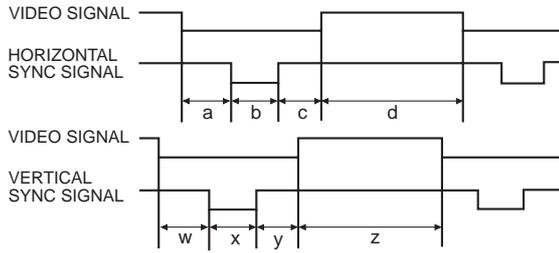




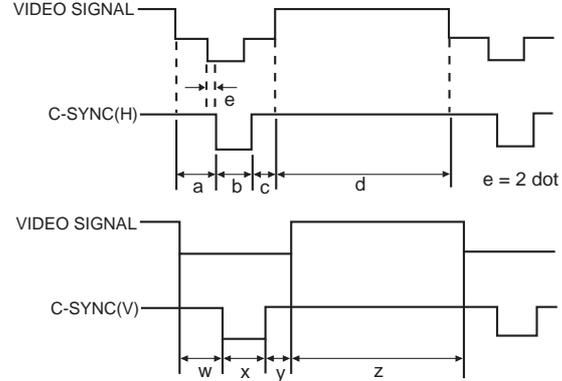
RGB 入力信号(推奨信号)について

種類の違うコンピュータ信号のコンピュータ出力信号のタイミングは参考まで下記に示します。

IBMコンピュータ・互換機



Macintoshシリーズ



下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規準以外の信号にも対応しています。

	MODE	VIDEO		HSYNC										VSYNC								
				FRONT PORCH	SYNC	BACK PORCH	VIDEO PERIOD	1H (a+b+c+d)		1dot	1/H	1/dot	LEVEL	FRONT PORCH	SYNC	BACK PORCH	VIDEO PERIOD	1V (w+x+y+z)		1/V	LEVEL	
				a	b	c	d	dot	μs	ns	kHz	MHz		w	x	y	z	H	ms	Hz		
VGA	VESA Standard	640	350	R・G・B	32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500	TTL	32	3	60	350	445	11.8	85.080	TTL
		640	400		32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	41	400	445	11.8	85.080	
		720	400		36	72	108	720	936	26.4	28.2	37.927	35.500		1	3	42	400	446	11.8	85.039	
	Industry Standard	640	480		8	96	40	640	800	31.8	39.7	31.469	25.175		2	2	25	480	525	16.7	59.940	
		640	480		16	40	120	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	20	480	520	13.7	72.809	
		640	480		16	64	120	640	840	26.7	31.7	37.500	31.500		1	3	16	480	500	13.3	75.000	
SVGA	VESA Standard	640	480		56	56	80	640	832	23.1	27.8	43.269	36.000		1	3	25	480	509	11.8	85.008	
		800	600		24	72	128	800	1,024	28.4	27.8	35.156	36.000		1	2	22	600	625	17.8	56.250	
		800	600		40	128	88	800	1,056	26.4	25.0	37.879	40.000		1	4	23	600	628	16.6	60.317	
	VESA Guidelines	800	600		56	120	64	800	1,040	20.8	20.0	48.077	50.000		37	6	23	600	666	13.9	72.188	
		800	600		16	80	160	800	1,056	21.3	20.2	46.875	49.500		1	3	21	600	625	13.3	75.000	
		800	600		32	64	152	800	1,048	18.6	17.8	53.674	56.250		1	3	27	600	631	11.8	85.061	
XGA	Industry Standard	1,024	768	8	176	56	1,024	1,264	28.2	22.3	35.522	44.900	0	4	20	768	817	23.0	43.479			
		1,024	768	24	136	160	1,024	1,344	20.7	15.4	48.363	65.000	3	6	29	768	806	16.7	60.004			
		1,024	768	24	136	144	1,024	1,328	17.7	13.3	56.476	75.000	3	6	29	768	806	14.3	70.069			
	VESA Standard	1,024	768	16	96	176	1,024	1,312	16.7	12.7	60.023	78.750	1	3	28	768	800	13.3	75.029			
		1,024	768	48	96	208	1,024	1,376	14.6	10.6	68.677	94.500	1	3	36	768	808	11.8	84.997			
		1,152	864	64	128	256	1,152	1,600	14.8	9.3	67.500	108.000	1	3	32	864	900	13.3	75.000			
SXGA	1,280	960	96	112	312	1,280	1,800	15.7	9.3	60.000	108.000	1	3	36	960	1,000	16.7	60.000				
	1,280	1,024	48	112	248	1,280	1,688	15.6	9.3	63.981	108.000	1	3	38	1,024	1,066	16.7	60.020				
	1,280	1,024	48	112	248	1,280	1,688	15.6	9.3	63.981	108.000	1	3	38	1,024	1,066	16.7	60.020				
Macintosh™	13" Monitor	640	480	64	64	96	640	864	28.6	33.1	35.000	30.2400	3	3	39	480	525	15.0	66.670			
	16" Monitor	832	624	31	65	224	832	1,152	20.1	17.5	49.693	57.246	1	3	39	624	667	13.4	74.502			
	19" Monitor	1,024	768	35	96	173	1,024	1,328	16.7	12.5	60.000	79.760	3	3	30	768	804	13.4	74.700			
DTV	480I	640	480	-	-	-	-	-	-	-	15.734	-	-	-	-	-	-	-	59.940			
	480P	640	480	-	-	-	-	-	-	-	31.469	-	-	-	-	-	-	-	59.940			
	720P	1,280	720	-	-	-	-	-	-	-	44.955	-	-	-	-	-	-	-	59.740			
	1080I	1,920	1,080	-	-	-	-	-	-	-	33.716	-	-	-	-	-	-	-	59.940			



本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。

Mac16インチ、Mac19インチ、XGA、SXGAの映像は圧縮表示されます。

RGB信号入力時はズームモード固定となり、画面全体での表示になります。。





故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	24
	本体の電源が「切」の状態になっていませんか。	24
	接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	表示させる画面の選択がまちがっていませんか。	25
	プロジェクター背面・側面の配線は、正しく接続されていますか。	19~22
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。	12
	側面のエアフィルターカバーはきちんと取り付けられていますか。	54
	ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	-
 音声は出るが映像が出ない	プロジェクター背面・側面の配線は、正しく接続されていますか。	19~22
	映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	32~35
	コンポーネント/RGB切換が信号方式と合っていますか。	20・21
 色がうすい、色あいが悪い	映像調整は、正しく調整されていますか。	32~35
	ビデオ入力するとき ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 リモコンのコンポーネント/RGBボタンでコンポーネント/RGBが 正しく設定されていますか。	36・37 20・21
 映像がボヤける ノイズが発生する	レンズのフォーカスは合っていますか。	26
	投影距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	17
	コンピュータ入力するとき 同期調整(クロック調整)を行ってください。 同期調整(位相調整)を行ってください。	38・39
 映像は出るが音声が出ない	プロジェクター背面・側面の配線は、正しく接続されていますか。	19~22
	音量が最小になっていませんか。	25
	音声コードが正しく接続されていますか。	20~22
キャビネットから時々 「ピシッ」と音がする	画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	「お知らせ表示 / ランプ(光源)について」をご覧ください。	57
リモコンが正しく動作 しない	乾電池が消耗していませんか。 乾電池は正しく入っていますか。	12 12
電源「入」時 明るくなり、冷却ファンの 音が大きくなる	工場出荷時、またはシアターモードを「ON」の状態から電源を「入」にすると、約60秒間、光の量を100%の状態にし、冷却ファンの回転数を早めます。約60秒後、光の量を70%の状態にし、冷却ファンの回転数を落します。故障ではありません。	51
冷却ファンの音が 大きくなる	周囲温度が高くなっていませんか。 エアフィルターのお手入れを実施してください。	51 58
シアターモードを「OFF」 にすると冷却ファンの 音が大きくなる	シアターモードを「OFF」にすると明るくできますが内部温度の上昇を防ぐため、冷却ファンの回転数を自動的に早めます。そのためファンの音が大きくなります。故障ではありません。	51
操作できない	起動画面や同期調整中は、電源以外のボタンは働きません。	24・39
	信号が入力されてないときは、メニュー操作ができません。	30





アフターサービスについて

保証について

- ① この液晶プロジェクターには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、ランプ(光源)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。故障のときは、お申しつけにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

保証期間

光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。

補修用性能部品について

液晶プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

- ① この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- ② 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申しつけください。故障のままお使用になったり、ご自分での修理は危険です。ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理依頼時につぎのことをお知らせください。

商品名 液晶プロジェクター
形名 XV-Z7000
故障状況(できるだけくわしく)
ご氏名
ご住所(付近の目印など道順)
お電話番号

愛情点検



長年ご使用の液晶プロジェクターの点検を! こんな症状はありませんか?

電源コードやプラグが異常に熱い。電源ボタンを入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
画面が映ったり、消えたりする。映像が乱れたり、色がきれいに出不い。その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



お問い合わせは

修理サービスを依頼される前に64ページの「故障かな?と思ったら」をお読みください。

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室またはお客様ご相談窓口へお寄せください。
お電話でお寄せいただく場合は、電話番号をよくお確かめのうえおかけいただくようお願い申し上げます。
まちがい電話は相手の方に迷惑になるだけでなく、お客様にとっても不経済なものとなります。

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。
製品の故障や部品のご購入などのご相談は.....(修理ご相談窓口)へ
(注)*印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
製品に対するご意見・ご要望などは.....(一般ご相談窓口)へ

修理ご相談窓口

出張修理のご相談はCSセンターにご連絡ください。
受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時40分
(日曜日、祝日など弊社休日には休ませていただきます。)

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター	(011)641-4690		東京都	*城南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込 1-5-15
	*札幌	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒 1条 7-3-17		*城北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町 1-33-11
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪 435		*世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀 3-8-18
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西 8 条南 3-17		*田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端 2-13-17
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町 2-6-10		*三多摩	(042)586-6059	日野市日野台 5-5-4
	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町 1-9		神奈川県 CSセンター (03)5692-7722		
	釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町 8-13		*横浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原 1-2-23
	旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通 4-左 10		*湘南	(0463)54-4738	平塚市田村 1381
青森県	函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町 31-17	*相模原	(0427)59-4195	相模原市横山 2-2-12	
	青森	(0177)38-0281	青森市妙見 3-3-4	山梨県 CSセンター (03)5692-7722			
秋田県	弘前	(0172)27-4649	弘前市豊田 3-5-1	*山梨	(055)228-5375	甲府市富竹 2-1-17	
	八戸	(0178)44-4649	八戸市小中野 2-8-16	静岡県 CSセンター (054)285-9360			
岩手県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反 170-56	*静岡	(054)285-9340	静岡市曲金 6-8-44	
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口 5	*沼津	(0559)22-5249	沼津市宮前町 11-4	
宮城県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南 3-1-1	*浜松	(053)463-4680	浜松市植松町 1476-2	
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町 4-6-43	長野県 CSセンター (026)293-6612			
山形県	CSセンター	(022)288-9250		*松本	(0263)27-4694	松本市芳野 8-14	
	*宮城	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東 3-1-27	*長野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢 6877-1	
福島県	山形	(023)631-4649	山形市飯田 2-7-43	愛知県 CSセンター (052)332-5880			
	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町 19-5	*名古屋	(052)332-2623	名古屋市市中川区山王 3-5-5	
新潟県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁 33-1	*岡崎	(0564)24-2343	岡崎市柿町 1-21	
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町 41-2	*豊橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口 17-1	
栃木県	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘 37-10	岐阜県 CSセンター (052)332-5880			
	CSセンター	(025)285-1513		*岐阜	(058)273-4969	岐阜市六条南 3-12-9	
群馬県	*新潟	(025)285-3663	新潟市上所中 1-7-21	三重県 CSセンター (052)332-5880			
	*長岡	(0258)23-1819	長岡市撰田屋町崩 2600	*三重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池 328	
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722		富山県 CSセンター (076)269-1875			
	*栃木	(028)637-1179	宇都宮市不動前 4-2-41	*富山	(076)451-2459	富山市金泉寺 71-1	
埼玉県	*小山	(0282)62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡 5201	石川県 CSセンター (076)269-1875			
	CSセンター	(03)5692-7722		*金沢	(076)249-2434	石川郡野々市町御縁塚町 1096-1	
千葉県	*群馬	(027)252-4706	前橋市問屋町 1-3-7	福井県 CSセンター (076)269-1875			
	CSセンター	(03)5692-7722		*福井	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町 625	
東京都	*茨城	(029)241-4930	水戸市千波町 1963	滋賀県 CSセンター (06)6795-2899			
	*南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原 2857-9	*滋賀	(077)545-4692	大津市栗林町 11-35	
東京都	CSセンター	(03)5692-7722		*彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町 133	
	*埼玉中央	(048)666-7987	大宮市宮原町 2-107-2	京都府 CSセンター (06)6795-2899			
東京都	*埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南荻島 346-1	*京都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町 48	
	CSセンター	(03)5692-7722		*北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町 6-13	
東京都	*千葉	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬 1-9-2	大阪府 CSセンター (06)6795-2800			
	*西千葉	(0473)68-4766	松戸市稔台 295-1	*大阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西 1-2-9	
東京都	*東千葉	(0479)79-1181	八日市市場高宇東 2779-4	*堺	(0722)45-4651	堺市老松町 1-39	
	*木更津	(0438)37-7912	木更津市請西 2-5-22	*大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南 3-7-19	
東京都	CSセンター	(03)5692-7722		*南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢 1215	
	*江東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原 2-12-3	*北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川 5-15-3	



修理ご相談窓口

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
(兵庫県)	[*阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺 3-2-10	香川県	CSセンター	(087)823-5513	
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899		[*香川	(087)823-4901		高松市朝日町 6-2-8
	[*兵庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2	徳島県	CSセンター	(088)625-4684	
	[*神戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18	[*徳島	(088)625-4654		徳島市中常三島町 3-11-14
	[*姫路	(0792)66-1819	姫路市青山 5-7-7	愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	
奈良県	[*豊岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑 77-1	[*愛媛	(089)971-4563		松山市高岡町 178-1
	CSセンター	(06)6795-2899		高知県	CSセンター	(0888)82-4021	
和歌山県	[*奈良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町 492	[*高知	(0888)82-4635		高知市高須 960-1
	[*奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原 4-3	福岡県	CSセンター	(092)586-1122	
	CSセンター	(06)6795-2899		[*福岡	(092)572-4652		福岡市博多区井相田 2-12-1
和歌山県	[*和歌山	(073)445-4615	和歌山市西小二里 2-4-91	[*南福岡	(0942)45-8211		久留米市御井旗崎 3-7-14
	[*南紀	(0739)25-3121	田辺市稲成町 441-1	[*北九州	(093)592-4677		北九州市小倉北区大手町 6-1-2
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町 2-204	佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	
岡山県	CSセンター	(086)292-1707		[*佐賀	(0952)24-9450		佐賀市鍋島町八戸五本松籠 2043-2
	[*岡山	(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾 828	長崎県	CSセンター	(095)844-1870	
島根県	CSセンター	(0852)24-4811		[*長崎	(0957)52-3511		大村市古賀島町 613-3
広島県	[*松江	(0852)24-4810	松江市西津田 3-1-10	佐世保	(0956)32-6666		佐世保市白岳町 107-5
	CSセンター	(082)874-8071		大分県	CSセンター	(097)552-9416	
	[*広島	(082)874-8149	広島市安佐南区西原 2-13-4	[*大分	(097)552-2313		大分市松原町 3-5-3
	CSセンター	(0824)28-7448		熊本県	CSセンター	(096)366-7070	
	[*東広島	(0824)28-7490	東広島市八本松東 4-3-30	[*熊本	(096)364-4777		熊本市新屋敷 3-15-17
CSセンター	(0849)51-7644		天草	(0969)23-8711		本渡市港町 19-3	
山口県	[*福山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地	宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	
	CSセンター	(083)972-0870		[*宮崎	(0985)31-1832		宮崎市原町 4-12
	[*山口	(083)972-0891	吉敷郡小郡町若草町 4-12	鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	
[*東山口	(0833)44-0923	下松市西豊井 173-1	[*鹿児島	(099)253-4600		鹿児島市鴨池新町 12-1	

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙 2-10-1	鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町 8-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里 214-4				

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649	FAX(043)299-8280	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649	FAX(06)6792-5993	〒547-0003	大阪市平野区加美南 4-3-41

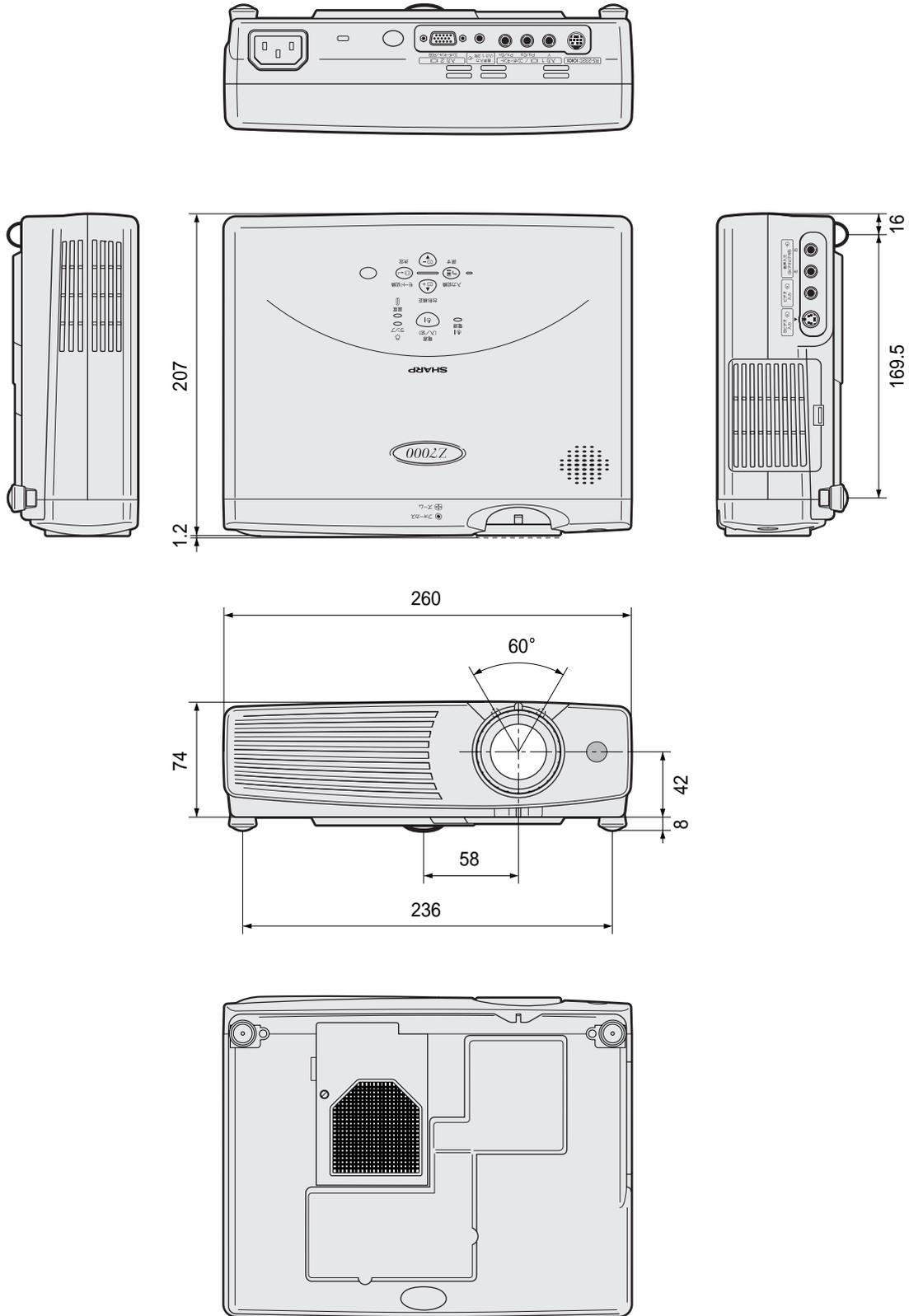
受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時
(日曜日、祝日など弊社休日とは休ませていただきます。)

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801	札幌市西区二十四軒 1条 7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013	東京都北区東田端 2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721	名古屋市中川区山王 3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時40分
(土・日曜日、祝日など弊社休日とは休ませていただきます。)
所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(00.12)

寸法図



単位 : mm



用語集

RS-232C

コンピュータからプロジェクターを制御するときに使用する端子です。

プログレッシブ 変換

インターレース形式の信号をプログレッシブ方式の信号に変換する機能です。

プログレッシブは静止画など動きの少ない映像を投影するときに適しています。インターレースに比べ、よりきれいな映像が投影できます。

本機では、4 種類のプログレッシブモードから選べます。

フィルムモード

24 コマ / 秒の映像フィルム記録の DVD ソフトなどを再生したとき、60 コマ / 秒のプログレッシブ映像に変換して高画質な映像が楽しめるモードです。(2 - 3 プルダウン機能)

アスペクト比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常のアスペクト比は4:3です。アスペクト比が16:9/21:9 という横幅の広いワイド映像もあります。

位相調整

コンピュータ入力時、画面の横方向に出るノイズを低減するための調整です。

クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最適な状態で投影する機能です。

静止画機能

動く映像を一時停止する機能(静止画機能)です。画面上には"フリーズ"と表示されます。

ガンマ補正

映像や部屋の明るさに合わせ、コントラストや暗いシーンの階調を補正し、見やすいお好みの映像が選べる機能です。(標準とガンマ1、ガンマ2の3種類から選択できます)

画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正

プロジェクターの映像を投影したとき、台形に歪んだ映像を4:3の比率を保ちながらデジタル修正するための機能です。

無信号時表示画面

信号が入力されていないときに投影される設定画面です。





索引

A ~ Z

AC電源ソケット	19
Blue	48
Component入力	32
None	48
RGB入力	21,63
Sビデオモード	25
Sビデオモードボタン	25

あ

アジャスター	15
アジャスターリリースボタン	15
一覧	29
色温度ボタン	33
エアフィルター	56,58
映像左右/上下反転機能	42
映像調整	29,32,34
オプション	29
温度モニターお知らせ表示	54
音量ボタン(+ / -)	25

か

乾電池	12
ガンマ補正ボタン	45
キーストーン補正(調整)	27
クロック	38
決定ボタン	30
言語選択	29,50

さ

シアターモード	51
自動同期調整	39
自動同期調整ボタン	39
消音ボタン	25
ズーム	46
ズーム(調整)	26
水平位相	38
スクイーズ(フル)	46
スピーカー	9
静止画ボタン	44
選択/調整ボタン(▲▼)	30

た

台形補正ボタン	27
電源ボタン(入/切)	24
電源コード	19,54
電源表示	24
天吊り	18,42
同期調整	29,38
投影方式	29,42

な

入力切替ボタン	24
入力1モード	25
入力1モードボタン	25
入力2モード	25
入力2モードボタン	25
ノーマル	46

は

ビデオモード	25
ビデオモードボタン	25
フォーカス(調整)	26
プログレッシブモード	49

ま

無信号時電源オフ	47
無信号時表示画面	48
メニューボタン	30
戻しボタン	30
モード切替ボタン	46

ら

ランプ交換お知らせ表示	24,54
リア	18,42
リモコン	11,12
リモコン受信部	12
リモコン信号発信部	12
冷却ファン(通気孔)	9
冷却ファン(排気孔)	9



お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

この製品についてのご意見・ご質問
「一般ご相談窓口」へお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649

FAX(043)299-8280

〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649

FAX(06)6792-5993

〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時
(日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

その他の地域にお住まいのかたは、「お客様ご相談窓口のご案内(67ページ)」の「一般ご相談窓口」へお申し付けください。

製品の故障や部品のご購入などの相談

「修理ご相談窓口」へお申し付けください。

(くわしくは、66・67ページをご覧ください。)

修理サービスを依頼される前に、64ページの「故障かな?と
思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区长池町 22 番 22 号
電話 (06) 6621-1221 (大代表)
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町 174 番地
電話 (0287) 43-1131 (大代表)

この取扱説明書は再生紙を使用しています。